大学番号 私立238

注3

計画の区分: 学部の設置

注1



関西国際大学 経営学部 経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名山手学院 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室

職名・氏名 担当課長・ 石川裕章

電話番号 0794-84-3500

(夜間) 0794-84-3500

e —mail <u>pres-sec@kuins.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合:「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- •大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

< 終	B 営学科 >	^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	19
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	20
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	21
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	38
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	39

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人濱名山手学院

- (2) 大 学 名 関西国際大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒673−0521

兵庫県三木市志染町青山1丁目18番

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学 部 長	(ヤマシタ ヤスオ) 山下 泰生 _(平成31年4月)		
学科長等		(ウキタイズミ) 浮田 泉 (平成31年4月)	学科運営強化のため任用 (元)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1佣 石
経営学部 経営学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	100 人	3 年次 20 人	440 人		令和3年4月収容定員740人 に変更

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度							令和:	元年度	令和:	2 年度	令和3年度		平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区	分	春季入	学	その他の学	朔	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	I/⊞	75
Α	入学定員	,	<u></u>)	٦	X	X	1	00		人 00	人 175	,				
^	八十足貝	([)		([) 1	_	2 0) – 1	-	2 0) – 1	(20)					
					1	<u>.</u>	Ī	437		550		628					
	志願者数	([)]	L .)	()	() []	[46]	(-) [-]	(-) [38]	(-) [-]	(15) [101]	()				
			_		†			408	-	509	-	574					
	受験者数)]) 1	[.)	() []	() []	(-) [43]	(-) [-]	(-) [34]	(-) [-]	(12) [90]	() []	1.11倍	倍		
			_		†			152	-	154	-	405					
	合格者数	([)	Γ .)	() []	()	(0) [19]	(-) [-]	(-) [10]	(-) [-]	(5) [32]	()				
		L		L .	┧	L J		113		109		197	L J				
В	入学者数	()	()	()	()	(0) [16]	(-)	(-)	(-)	(4) [27]	()				
入	学定員超過率 B/A	L	J	<u>L</u> .	J	L J	ĮL J		13	[10] 1.	09	1.	13				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度					令和方	元年度	令和 2	2 年度	令和3年度		備考
学年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	ин <i>5</i>
						113	-	109	-	197		
	1 年次	[]	[]	[]	[]	[16]	[-]	[10]	[-]	[25]	[]	
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	
								108	-	104		
	2年次	[]	[]	[]	[]			[16]	[-]	[10]	[]	
		()	()	()	()			(-)	(-)	(-)	()	
										107		
,	3年次	[]	[]	[]	[]	/				[19]	[]	令和3年度春季入学 (3) は編入学
		()	()	()	()					(3)	()	
	4年次	[]	[]	[]	[]					/		
		()	()	()	()							
							13	2	17	40	08	
	計	[]	[]	[1	6]	[20	6]	[;	54]	
		()	()	(-	-)	(-)	(;	3)	L

- ・令和3年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分)		内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退字者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
7] 第一及			/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		うち留学生数	
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
干成50平皮		^	平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	113 人	5 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	5 人	0 人	修学意欲の低下 1、進路変更(他教育機関) 2 進路変更(就職) 2
			平成29年度	人	人	
令和2年度	217 人	8 人	平成30年度	Υ	人	
			令和元年度	4 人	0 人	修学意欲の低下 4
			令和2年度	4 人	0 人	修学意欲の低下 2、進路変更(他教育機関) 2
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	408 人	1 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	修学意欲の低下 1
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		14 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学 •海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

令和3年度の在学者数(b)

平成29年度の退学者数(a) #DIV/0! % 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) % 4.42 令和元年度の在学者数(b) 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 3.68 % 令和2年度の在学者数(b) 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

0.24

%

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	曲	授	授	師	教	手	担
基	経営学概論	1春	4			1					
礎	経済学概論	1春	4					1			
	マーケティング	1秋	4			1					
科	ファイナンス	1秋	4			1					
目	ビジネス統計学	2春	4	_		1	_	_			
	小計(5科目) 業界研究実習	- 1冬	20	0	0	3	0	1	0	0	0
	プロジェクトマネジ メント演習 I	1秋	2			2		2			
	プロジェクトマネジ メント演習 II	2春	2			1		2			
総合演	プロジェクトマネジ メント演習Ⅲ	2秋	4			2		2			
習科目	プロジェクトマネジ メント演習IV	3春	4			2	1	1			
	マネジメント専門演習	3秋	2			1	2	3			
	卒業研究	4通	4			9	2	3			
	小計(7科目)	-	20	0	0	9	2	3	0	0	0
	地域経営概論	2春		2				1			
	公共サービス論	2秋		2				1			
	コミュニティビジネ ス	3春		2				1			
	地域マネジメント	2春		4				1			
	セーフティマネジメ ント論	2春		2		1					
	危機管理入門	2秋		2		1					
	企業危機管理論	3春		2		1					
	防災•復興組織論	3秋		2		1					
基	ホスピタリティマネ ジメント	2春		4							1
幹科	インバウンドツーリ ズム産業論	2秋		2		1					
目	観光実務論	2秋		2		1					
	アジア文化論	3春		2							1
	小計(12科目)	_	0	28	0	4	0	2	0	0	2

【令和3年度】

程度分	K	育和3年度】 	配	È	单位数	itr	古	ī 仁	·昌笙	の配	罟	兼
株置学概論		授業科目の名称	当				_	准				任・
基 経済学概論 1秋 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	区万			修	択	由	授		師	教	手	兼 担
世 マーケティング 1春 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		経営学概論	1春	4			2					
科 ファイナンス 1秋 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基	経済学概論	1秋	4				1				
目 ビジネス統計学 2春 4	礎	マーケティング	1春	4			1		1			
小計(5科目)	科	ファイナンス	1秋	4			1	1				
************************************	目	ビジネス統計学	2春	4								1
プロジェクトマネジメント演習 I			-	20	0	0						
大い演習 I			1冬	2			4	1				
総合 演習日 プロジェクトマネジ メント演習IV マネジメント専門演 マネジメント専門演 マネジメント専門演 本業研究 4通 4 9 2 3 小計 (7科目) - 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		メント演習 Ι	1秋	2			4	1				
漢習刊目	総		2春	2			5	1				
目 プンバス 目 10 マネジメント専門演習 3秋 2 5 2 1 中株研究 4通 4 9 2 3 小計 (7科目) - 20 0 0 0 0 地域経営概論 2春 2 公共サービス論 2秋 2 1 1 コミュニティビジネスス 2春 4 た機管理入門 2秋 2 1 1 1 企業危機管理論 防災・復興組織論 3秋 2 1 2 1 財災・復興組織論 3秋 2 1 2 1 展開科目へ 展開科目へ 2春 2 2 経営組織論 2春 2 1 2 1 中小企業論 マーケティングリサーチ 3秋 2 1 2 1 マーケティングリサーチ マネジメント・サイエンス 2春 顧客満足論 2秋 2 1 2 1 経営分析 3春 2 1 1 1 廃止	富		2秋	4			6	0	1			
習 3秋 2 5 2 1 卒業研究 4通 4 9 2 3 小計(7科目) - 20 0 0 0 0 地域経営概論 2春 2 公共サービス論 2秋 2 1 1 コミュニティビジネス 3春 2 1 た機管理入門 2秋 2 1 1 企業危機管理論 3春 2 1 1 旅び・復興組織論 3秋 2 1 1 基幹科目 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 経営組織論 2春 2 1 1 マーケティングリサーチマネジメント・サイエンス 2春 2 2 1 政会活足論 2秋 2 1 1 経営分析 3春 2 1 1 原止 1 1	科目		3春	4			5	2	1			
小計(7科目) - 20 0 0 地域経営概論 2春 2 公共サービス論 2秋 2 コミュニティビジネス 3春 2 地域マネジメント 2春 4 セーフティマネジメント論 2春 2 危機管理入門 2秋 2 1 企業危機管理論 3春 2 1 防災・復興組織論 3秋 2 1 展開科目へ 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 1 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティンクリサーチ 3秋 2 1 マネシゾント・サイエンス 原 2春 2 1 麻客満足論 2秋 2 1 廃止			3秋	2			5	2	1			
地域経営概論 2春 2 公共サービス論 2秋 2 コミュニティビジネス 3春 2 地域マネジメント 2春 4 セープティマネジメント論 2春 2 1 危機管理入門企業危機管理論 3春 2 1 防災・復興組織論 3秋 2 1 財政・復興組織論 2春 2 1 基 展開科目へ展開科目へ展開科目へ展開科目へ表検営組織論 2春 2 1 中小企業論マーケティング・リサーチマネジ・メント・サイエンス を表しまかけ、サイエンス を表しまないより、大力・サイエンス を表しまないより、大力・サインス を表しまないより、大力・サインス を表しまないより、大力・サインス を表しまないより、大力・サインス を表しまないより、大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大		卒業研究	4通	4			9	2	3			
公共サービス論コミュニティビジネス 2 1 コミュニティビジネス 3春 2 地域マネジメントを地域マネジメント論 危機管理入門企業危機管理論の変更を機管理論の変更を機管理論の変更を構造します。 2 1 企業危機管理論の変更を機管理論の変更を構造します。 3春 2 1 基幹科目の機関科目の機関科目の機関科目の機関科目の機関科目の変更を構造します。 2 2 経営組織論の定義の対力サーチスがパト・サイエンスのであった。 2春 2 1 マーケティングリサーチスがパト・サイエンスのである。 2春 2 1 履客満足論の変更を対力がある。 2 1 1 廃止 2 1 1		小計(7科目)	_	20	0	0						
コミュニティビジネ ス		地域経営概論	2春		2							1
ス 3音 2 地域マネジメント 2春 4 セーフティマネジメント論 2秒 2 1 危機管理入門企業危機管理論 3春 2 1 1 基 展開科目へ展開科目へ展開科目へ展開科目へ展開科目へ展開科目へ表営戦略論 2春 2 2 1 経営組織論 2春 2 1 1 1 中小企業論 2春 2 1 1 1 1 マーケティンク・リサーチス・ジメント・サイエンス 2春 2 1 1 1 政務活足論 2秋 2 1 1 1 1 廃止 廃止		公共サービス論	2秋		2		1					
セーフティマネジメント論 2春 1			3春		2							1
ント論 2香 2 1 <td></td> <td>地域マネジメント</td> <td>2春</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td>		地域マネジメント	2春		4							1
企業危機管理論 3春 2 1 1 基 展開科目へ 財子 展開科目へ 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 2 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティング・リサーチ 3秋 2 1 東京ジ・メント・サイエンス 2春 2 1 1 廃止 廃止			2春		2		1					
防災・復興組織論 3秋 2 1 1		危機管理入門	2秋		2		1		1			
基 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 1 1 中小企業論 2春 2 1 1 マネジメント・サイエンス 2春 2 項密満足論 2秋 2 1 4 経営分析 3春 2 1 1 1		企業危機管理論	3春		2		1					
幹 展開科目へ 展開科目へ 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 2 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティングリサーチ 3秋 2 1 マネジメント・サイエンス 2春 2 1 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止		防災•復興組織論	3秋		2			1				
展開科目へ 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 2 1 1 中小企業論 2春 2 1 1 7 7ネジメント・サイエンス 2春 2 1 1 1 経営分析 3春 2 1 1 1	基		•	J	展開和	4目	\					
科目 展開科目へ 経営戦略論 2春 2 2 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティング・リサーチ 3秋 2 1 マネシ・メント・サイエンス 2春 2 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止	幹											
経営戦略論 2春 2 1 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティング・リサーチ 3秋 2 1 マネシ・メント・サイエンス 2春 2 1 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止	科			J	展開和	4目/	`					
経営戦略論 2春 2 1 経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 1 マーケティング・リサーチ 3秋 2 1 マネシ・メント・サイエンス 2春 2 1 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止	 			J	展開和	4目~						
経営組織論 2春 2 1 中小企業論 2春 2 マーケティング・リサーチ 3秋 2 1 マネシ・メント・サイエンス 2春 2 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止		経営戦略論	2春		2		2					
中小企業論 2春 2 マーケティング リサーチ 3秋 2 マネジ メント・サイエンス 2春 2 顧客満足論 2秋 2 経営分析 3春 2 1 廃止		経営組織論			2		1					1
マーケティング リサーチ 3秋 2 1 マネシ メント・サイエンス 2春 2 顧客満足論 2秋 2 1 経営分析 3春 2 1 1 廃止												
マネシ・メント・サイエンス 2春 顧客満足論 2秋 経営分析 3春 度止									1			1
顧客満足論 2秋 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2												
		顧客満足論			2		1					
l		経営分析	3春		2		1	1				
小計(15科目) - 0 39 0		'			· 廃	止		ı	ı	1	i !	
		小計(15科目)	_	0	32	0						

	1									ホスピタリティマネ	2春	4	I					1
	サービス企画論	2秋	4			1				ジメント サービス企画論	_ 2秋	2	1					1
展		3春	2					1	展	ビジネスプロモー ション	3春	2						1
開科	ビジネスコミュニ ケーション技法	2秋	2					1	開科	ビジネスコミュニ ケーション技法	2秋	2	1					
目	コンプライアンス	2春	2	1					目	コンプライアンス	2春	2	1					
	顧客満足論	2秋	2	1								□□□ 基幹科目	^	ļ	l I		I	
	発想法	2秋	2		1					発想法	2秋	2	3	1				1
	観光産業特論	2秋	2	1						観光産業特論	2秋	2	1					
										観光実務論	2秋	2	1					
										観光実務特論	2秋	2	1					1
										インバウンドツーリ ズム産業論	2秋	2	1					
	インバウンド商品 企画演習	2秋	2	1						インバウンド商品 企画演習	2秋	2	1					
	ホテルマネジメント	2秋	2					1		ホテルマネジメント	2秋	2						1
										実用英語A	2春	2						1
										実用英語B	2秋	2						1
	ビューティビジネス 論	2秋	2	1						ビューティビジネス 論	2秋	2	1					
	ビューティ技術論	2秋	2	1						ビューティ技術論	2秋	2	1					
	ビューティ・コー ディネーター論	3春	2	1						ビューティ・コー ディネーター論	3春	2	1					
	コスメティック論	3春	4	1						コスメティック論	3春	2	1					
	ブライダル産業論	3秋	2		1					ブライダル産業論	3秋	2		1				
	セレモニー産業論	2秋	2		1					セレモニー産業論	2秋	2		1				
	セレモニー産業特論	3春	4		1					セレモニー産業特論	3春	2		1				
	地域マネジメント特 論	2秋	2			1				地域マネジメント特 論	2秋	2		1				
	環境保全論	2秋	4					1		環境保全論	2秋	2						1
	公共サービス特論	2秋	2			1				公共サービス特論	2秋	2						1
	危機管理·防災演習	3秋	2			1				危機管理·防災演 習	3秋	2			1			
	危機管理リーダー シップ論	3春	2	1						危機管理リーダー シップ論	3春	2			1			
展	コミュニティ防災	3春	2	1						コミュニティ防災	3春	2	1					
開	国際防災協力	3春	2	1						国際防災協力	3春	2	1					
科	安全安心社会特 論	3秋	2	1					科	安全安心社会特 論	3秋	2			1			
目	フードセキュリティ	3秋	2			1			目	フードセキュリティ	3秋	2						1
	マーケティングリ サーチ	3秋	2	1								基幹科目	^					
	インターネットマー ケティング	3春	2			1				インターネットマー ケティング	3春	2	1			1		
	国際経済論	3秋	2			1				国際経済論	3秋	2		2				
	アジアマーケティン グ論	3秋	4	1						アジアマーケティン グ論	3秋	2	1					
	経営戦略論	3秋	2	1								基幹科目	^	Î			F	
	商業簿記	3秋	2	1						商業簿記	3秋	2	1	1				
	経営組織論	2春	2	1								基幹科目	^	Î			F	
	財務会計論	2春	2	1						財務会計論	2春	2	1					

I	 国際	経営	·論	3春		2		1				ĺ		ı	国際	経営	論	3春		2		1	Ī	ĺ	ĺ		1 1
	原価			3春		2		1								i 会計		3春		2		1	1				
	経営			3春		2		1											į		l □ 斗目 ′	l •		I	l	!	
	広告	·論		3秋		2				1					広告	論		3秋		2				1			
	産業	心理	学	3秋		2							1		産業	心理	学	3秋		2							1
															日本	史概	説	1春		2							
															外国	史概	刊説	1春		2							1
															日本	文化	史	1春		2							1
															近代	社会	論	1春		2							1
															地理	学		1春		2							1
															人文	地理		1春		2							1
															法律	学概	語	1春		2							1
	イン	ターン	ノシップ I	2夏		2		3		1					イン	ターン	ノシップ I	2夏		2		4	1	1			
	イン	ターン	ノシップ Ⅱ	3夏		4		3		1					イン	ターン	ノシップ Ⅱ	3夏		4				1			
	小計	(40	4目)	_	0	92	0	9	2	3	0	0	5		小計	- (4 9	科目)	_	0	96	0						
		評価	iと実践 I	1~2	1			5		2						評価	iと実践 I	1~2	1			8	1	1			
		評価	iと実践Ⅱ	3 ~ 4	1			5		2						 評価	5と実践Ⅱ	3 ~ 4	1			5	3	1			
			ダーシッ														ダーシッ										
	K U	プ演	習	1冬		1							1			プ演	習	1冬		1							1
	I S		とキャリ 成 I	2春	2				1						I S		¥とキャリ シ成 I	2春	2			2	1				1
	べ		「とキャリ 成 I	2秋		2			1								\$とキャリ シ成Ⅱ	2秋		2		1					1
	トシー		次セミ	1春	1			4	1						シッ		次セミ	1春	1			6	4	1			
	ク	ナー													ク	ナー # #											
			演習	1秋	1			4	1								演習	1秋				4	2	1			
			技術	1春	1			2	1								了技術 - 3 品	1春	1			5	2				
		ソサ	ーチ入門 	1春	1								1			リフフ	ーチ入門 T	1春	1								2
			基礎英														基礎英										
			語	1春		2							1				語	1春		2							5
			総合英 語 I	1秋		2							1				総合英 語 I	1秋		2							5
			総合英														総合英										
			語Ⅱ	2春		2							1				語Ⅱ	2春		2							5
			オーラル														オーラル										
			イング リッシュ	1秋		1							1				イング リッシュ	1秋		1							5
			I														I										
		第														第											
		1 外	オーラルイング	2春		1							1			1	オーラルイング	2春		1							1
l		国語	リッシュ Ⅱ			•							'			外 国 語	リッシュ Ⅱ			·							
基			オーラル											基			オーラル										
盤			オーラル イング リッシュ	2秋		1							1	盤		英 語)	イング リッシュ	2秋		1							1
教			Ш											教			Ш										
育			インテン シブイン グリッ シュ I											育			インテンシブイン										
科			グリッ	1夏		1							1	科			インテン シブイン グリッ シュ I	1春		1							1
目			1											目			1										

	コモンベーシック		インテン シブイン グリッ シュ II 英語 I	1冬		1 4				1	コモンベーシック		インテン シブイン グリッ シュ II 英語 I	1秋		1 4				
	ス		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	2春		4				1) ス 		英語Ⅱ 英語Ⅲ	1秋 2春		4				
			中国語	2秋 1春		2				1			英語IV 中国語	2秋 1春		2				
		第 2	I 中国語 Ⅱ	1秋		2				1			I 中国語 II	1秋		2				
		2 外 国 語	韓国•朝 鮮語 I	1春		2				1		第	韓国•朝 鮮語 I	1春		2				
		āП	韓国·朝 鮮語Ⅱ	1秋		2				1		2 外 国 語	韓国·朝 鮮語 Ⅱ	1秋		2				
												語	インドネ シア語			1				
													マレー語			1				
			日本語	, -									日本語						_	 +
		留学生対象の	I 日本語 Ⅱ	1春 1秋		2				1		留学生対象の	I 日本語 II	1春·秋 1春·秋		2				
		対象	日本語 Ⅲ	1春		2				1		対象	日本語	1春•秋		2				
			皿 日本語 Ⅳ	1秋		2				1			^Ⅲ 日本語 Ⅳ	1春•秋		2				
		日本語	IV 日本語 V	1春		2				1		日本語	IV 日本語 V	1春•秋		2				
			アカデ ミック日 本語 I	1春		1				1			アカデ ミック日 本語 I	2春		1				
			アカデ ミック日 本語 II	1秋		1				1			アカデ ミック日 本語 II	2秋		1				
		留学生対象	日本語ラ イティン グ I	1春		1				1		留学生対象	日本語ラ イティン グ I	2春		1				
		の	日本語ラ イティン グ Ⅱ	1秋		1				1		の	日本語ラ イティン グ Ⅱ	2秋		1				
	П	日本語	ビジネス 日本語 I	1春		1				1		日本語	ビジネス 日本語 I	2春		1				
	モンベー		ビジネス 日本語 Ⅱ	1春		1				1	モンベー		ビジネス 日本語 II	2春		1				
	シッ		- 専門日 本語 I	1秋		1				1	- シッ		- 専門日 本語 I	2秋		1				
	クス		中門日本語 I	1秋		1				1	クス		専門日本語Ⅱ	2秋		1				
			ICTリテ ラシー	1春	2		2						ICTリテ ラシー	1春	2		3	1		
			ICT活用	1秋		2	1						ICT活用	1秋		2	1		1	
		情 報		2春		2		1				情 報	1	2春		2	1			
基盤			B ICT活用 C	2秋		2	1	,					B ICT活用 C	2秋		2	•		1	

新 育 科 目	l	ĺ			ĺ									
計画	教育		スポ ル	生涯ス ポーツ I	1春		1							1
1			ツと	生涯ス	1秋		1							1
I	目		小計	†(44科目)	_	10	64	0	6	2	1	0	0	10
Table Ta					1春	2								3
理解 人権と比 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			間		1秋	2			1					2
1			理		1秋		2							1
1				人権と法	1春		2							1
1					1秋		2							1
社会際化 1秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		'n	社会		1春		2							1
対		ベラルア	云と生活		1春		2							1
活					1秋		2							1
学と生活 1				環境と生 活	1秋		2							1
Table Ta			科学と	データサ イエンス	1秋		2							1
会 1香 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1				生命と倫 理	1秋		2							1
プローバルス 2夏 1 4 1 1 7 7 7 1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					1春		2		1					
タディI 2夏 1 4 1 1 グローバルスタディエ 2夏 3 1 1 グローバルスタディエ 2夏 3 1 1 グローバルスタディ 地域研究(欧地域の研究(アレッジア圏) 1秋 2 1 1 日本社会会 1秒 2 1 1 1 日本文化論 1春 2 1 1 1 1 基盤 4 1 2 1 <t< td=""><td></td><td></td><td>小計</td><td>(12科目)</td><td>_</td><td>4</td><td>20</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td></t<>			小計	(12科目)	_	4	20	0	2	0	0	0	0	5
タディII クラディII グローバルスタディIII 2 グラディIII 1秋 グラディIII 1秋 地域研究(欧 大変) 1秋 1秋 2 日本 文化論 1 日本 文化論 1 日本 ビスラー コミュニティスタディ 1 地域防災 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1					2夏		1		4	1	1			
マディⅢ 2g 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1			グロ タデ	ーバルス ィⅡ	2夏		2		2					
Na					2夏		3							1
Tan and Manufacture Tan and Manufactu		ルス			1秋		2							1
基 本社会) 1枚 2 日本文化論 1春 2 盤 サービスラー コミュニティズラー コミュニティズタディ 1夏 1 地域防災減 災害と安全 1冬 2 1 がきと安全 1冬 2 1 特別研究 I ※ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1		ディ			1秋		2							1
盤 サービスラー 1夏 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1秋		2							1
教 育 科 目 「1			日本	文化論	1春		2							1
育 リービスラー コ夏 1 日 コニティスタディ 地域防災減 災論 災論 災害と安全 1冬 2 3 3 ボランティア論 1春 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1夏		1			1				
科目 ナイスタディンスタディンスタディンスタディンティア論 1を 2 3 3 ボランティア論 1を 2 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	育	<i>ш</i> д П			1夏		2				1			
イ ボランティア論 1春 2 1 特別研究 I ※ 1 特別研究 I ※ 2 1 特別研究 I ※ 2 1 研究 特別研究 I ※ 3 1		ティス			1冬		2		1					
ボランティア論 1春 2 1 特別研究 I ※ 1 1 特別研究 I ※ 2 1 特別研究 I ※ 2 1 特別研究 I ※ 3 1		タディ	災害	子と安全	1冬		2							3
特別研究Ⅱ ※ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ボラ	ンティア論	1春		2							1
		#+	特別	J研究 I	*		1							1
研 特別研究皿 ※ 3 1 1		別	特別]研究 Ⅱ	*		2							1
特別研究IV ※ 4 1		研 究					3							1
			特別]研究Ⅳ	Ж		4							1

教	:	_	生涯ス	1春		1					1
育				116		'					'
科		اني ک	生涯ス ポーツⅡ	1秋		1					1
目		小計	(46科目)	-	10	66	0				
			人間学 I	1春	2						3
		人間	人間学 Ⅱ	1秋	2						3
		理解	倫理と社 会生活	1秋		2					1
			人権と法	1春		2					1
			近現代 の歴史	1秋		2					1
	IJ	社会	日本国 憲法	1春		2					1
	リベラルア	と生活	国際社 会と政治	1春		2					1
	リッ		社会階 層と文化	1秋		2					1
			環境と生 活	1秋		2					1
		科学上	データサ イエンス	1秋		2		1			
		学と生活	生命と倫 理	1秋		2					1
			情報と社 会	1春		2			1		
	_		(12科目)	1	4	20	0				
		グロ タデ	ーバルス ィ I	2夏		1		3			
		グロ タデ	ーバルス ィⅡ	2夏		2		2			
	グ ロ·	グロ タデ	ーバルス ィⅢ	2夏		3					1
	バル	グロタデ	ーバルス ィⅣ	2夏		4					1
	スタデ	地域 米圏	研究(北])	1秋		2					1
	1	地域 ジア	研究(ア 圏)	1秋		2					1
		日本 本社	:事情(日 :会)	1秋		2					1
基		日本	文化論	1春		2		1			
盤		サーニン	·ビスラー グA	1夏		1		1			
育	=	サーニン	·ビスラー グB	1夏		2					1
科目	- ティス・	地域災論	防災減 i	1春•冬		2		1			
	タディ	災害	と安全	1冬		2					1
		ボラ	ンティア論	1春		2					1
	特		│研究 I	*		1					
	別研		研究Ⅱ	*		2					2
	究		研究Ⅱ	*		3					
1	<u></u>	特別	研究Ⅳ	Ж		4					

	課題研究 I	Ж		4		1					
課題	課題研究Ⅱ	×		8		1					
研究	課題研究Ⅲ	×		12		1					
九	課題研究Ⅳ	×		16		1					
小討	(20科目)	ı	0	73	0	6	2	1	0	0	5
合計	(140科目)	ı	54	277	0	9	2	3	0	0	32

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コモンベーシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計64単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、基盤教育科目「コモンベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より6単位以上、「グローバルスタディ」より1単位以上の計23単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から39単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))

	===	課題研究I	Ж		4				
	課題	課題研究Ⅱ	Ж		8				
	研 究	課題研究Ⅲ	Ж		12				
	Ŕ	課題研究Ⅳ	*		16				
	小計	(20科目)	ı	0	77	0			
1	合計	(154科目)	-	54	291	0			

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コモンベーシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計54単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、展開科目より30単位以上、基盤教育科目「コモンベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より4単位以上、「グローバルスタディ」及び「コミュニティスタディ」より1単位以上の計52単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から20単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))

<u>[</u> 4	予和元年度 】										
科目	授業科目の名称	配当	È	单位数		_	任教	員等		置	兼 任
区分	技术符目 切石物	年 次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	調師	助数	助手	兼担
	経営学概論	1春	4			2					
基	経済学概論	1秋	4			1		1			
礎	マーケティング	1春	4			1		1			
科	ファイナンス	1秋	4			1	1				
	ビジネス統計学	2春	4			1					
	小計(5科目)	-	20	0	0	6	1	2	0	0	0
	業界研究	1冬	2			4					
	プロジェクトマネジメ ント演習 I	1秋	2			4					
総合	プロジェクトマネジメ ント演習 II	2春	2			1		2			
演習	プロジェクトマネジメ ント演習 III	2秋	4			2		2			
習科目	ント演習Ⅲ ブロジェクトマネジメ ント演習Ⅳ	3春	4			2	1	1			
l ^H	ント演習Ⅳ マネジメント専門演 習	3秋	2			2	2	2			
	卒業研究	4通	4			10	2	2			
	小計(7科目)	-	20	0	0	12	2	2	0	0	0
	地域経営概論	2春		2				1			
	公共サービス論	2秋		2		1					
	コミュニティビジネス	3春		2		1					
	地域マネジメント	2春		4		1					
基	セーフティマネジメン ト論	2春		2		1					
幹	危機管理入門	2秋		2		1					
科	企業危機管理論	3春		2		1					
目	防災•復興組織論	3秋		2		1					
	ホスピタリティマネジ メント	2春		4							1
	観光産業論	2春		2		1					
	アジア文化論	3春		2		1					
	小計(11科目)	_	0	26	0	4	0	1	0	0	0
	サービス企画論	2秋		2		1					
展	ビジネスプロモーショ ン	3春		2							1
開	ー ビジネスコミュニケー ション技法	2秋		2							1
科	コンプライアンス	2春		2		1					
目	顧客満足論	2秋		2		1					
	発想法	2秋		2			1				

【令和2年度】

科目	7和4十尺』	配当	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
区分	授業科目の名称 	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 拇	講師	助教	助手	· 兼 担
	経営学概論	1春	4			2					
基	経済学概論	1秋	4				1	1			
礎	マーケティング	1春	4			1		1			
科	ファイナンス	1秋	4			1	1				
目	ビジネス統計学	2春	4			2					
	小計(5科目)	-	20	0	0	6	2	2	0	0	0
	業界研究	1冬	2			3		1			
	プロジェクトマネジ メント演習 I	1秋	2			3		1			
総合	プロジェクトマネジ メント演習 Ⅱ	2春	2			4	2	2			
合演習科	ブロジェクトマネジ メント演習Ⅲ	2秋	4			5	2	2			
科目	メント演習II メント演習IV マネジメント専門演	3春	4				2	2			
	マネジメント専門演習	3秋	2			3	2	3			
	卒業研究	4通	4			10	2	2			
	小計(7科目)	-	20	0	0	11	3	3	0	0	0
	地域経営概論	2春		2				1			
	公共サービス論	2秋		2		1					
	コミュニティビジネ ス	3春		2							1
	地域マネジメント	2春		4							1
基	セーフティマネジメ ント論	2春		2		1					
幹	危機管理入門	2秋		2		1		1			
科	企業危機管理論	3春		2		1					
目	防災 復興組織論	3秋		2		1					
	ホスピタリティマネ ジメント	2春		4							1
	観光産業論	2春		2		1					
	アジア文化論	3春		2		1					
	小計(11科目)	-	24	26	0	4	0	1	0	0	0
	サービス企画論	2秋		2		1					
展	ビジネスプロモーショ ン	3春		2							1
開	ビジネスコミュニケー ション技法	2秋		2							1
科	コンプライアンス	2春		2		1					
目	顧客満足論	2秋		2		1					
	発想法	2秋		2		2	2	1			1

放売の無対数 2枚 2 1 1 2枚 2枚 2 1 1 2枚 2枚		観光産業特論	2秋		2		1						l í		细业	产类性硷	2秋		2		1					
製造機関性 2枚 2枚 1					2		1										乙代		2		'					
かいの・アーツー 2枚 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		観光実務論	2秋		2		1								観光	実務論	2秋		2		1					
大小野 大小		観光実務特論	2秋		2		1								観光	実務特論	2秋		2							1
由語型			2秋		2		1										2秋		2		1					
大きの		インバウンド商品企	2秋		2		1										2秋		2		1					
#用条節名 2世 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		—										4				_					-					1
大きの												'														<u>'</u>
변요 - FY 전상자 지점 2					2							1							2							1
전					2							1							2							1
日本の子子		ビューティビジネス論	2秋		2		1								ビュ-	ーティビジネス論	2秋		2		1					
ネーター協 30			2秋		2		1										2秋		2		1					
プライダル音楽論 3級 2			3春		2		1										3春		2		1					
世レモニー産業結論 3音 2数 2 1 1 1 2 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		コスメティック論	3春		2		1								コス	メティック論	3春		2		1					
世 し		ブライダル産業論	3秋		2			1							ブラ	イダル産業論	3秋		2			1				
地域マネジルンド 2枚 2枚 2		セレモニー産業論	2秋		2			1							セレ	モニー産業論	2秋		2			1				
地域ネネジント特 2枚 2		レゼレモニー産業特論	3春		2			1							セレ	モニー産業特論	3春		2			1				
環境保証金 2秋 2 1 1 1 1			2秋		2				1						地域		2秋		2				1			
展 公共サービス特論 2枚 2 1 1 1 2 1 2 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1		HIII										1			遌堷	HIII										
開 危機管理・ガツ () お	₽						4					'														
開 危機管理リーダー 3寿 2 1 1 日 3							'		4					開									4			
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	開								'										2							
国際放送協力 3春 2 1	科		3春		2		1										3春		2		1					
国際防災協力 3巻 2 1 1 7 7 1 1 1 1 7 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1		コミュニティ防災	3春		2		1							目	⊐₹ <i>=</i>	∟ニティ防災	3春		2		1		1			
フードセキュリティ マーケティングリ 3秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		国際防災協力	3春		2		1								国際	防災協力	3春		2		1					
マーケティングリ 3秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		 安全安心社会特論	3秋		2		1								安全	安心社会特論	3秋		2		1					
マーケティングリ		フードセキュリティ					1														1					
インダーネットマーケティング 3春 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		マーケティングリ					•		1						マー	ケティングリ					•		1			1
ティング		サーチ インターネットマーケ							'						サーイン	チ ターネットマーケ							4			'
アジアマーケティン / 治統 2		ティング					'								ティン	ノグ							J			
分論 名称									'													ı				
商業簿記 3秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		グ論					1								グ論						-					
経営組織論 2春 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					2		1												2		2		1			
財務会計論 2巻 2 1 1		商業簿記			2		1								商業	簿記			2		1	1				
国際経営論 3春 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		経営組織論	2春		2		1								経営	組織論	2春		2		1					1
原価会計 3春 2 1 1		財務会計論	2春		2		1								財務	会計論	2春		2		1					
経営分析 3春 2 1 1 1		国際経営論	3春		2		1								国際	経営論	3春		2				1			1
広告論 3秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		原価会計	3春		2		1								原価	会計	3春		2		1					
産業心理学 3秋 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		経営分析	3春		2		1								経営	分析	3春		2		1					
インターンシップ I 2夏 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1		広 告 論	3秋		2				1						広告	論	3秋		2				1			
インターンシップ II 3夏 4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1		産業心理学	3秋		2							1			産業	心理学	3秋		2		1					1
インターンシップ II 3夏 4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1		インターンシップ I	2夏		2		3		1						イン	ターンシップ I	2夏		2		3	1	2			
小計(45科目) - 0 92 0 10 1 2 0 0 6 評価と実践 I 1~2 1		 インターンシップ II	3夏		4		3		1						イン	ターンシップ Ⅱ	3夏		4		2	1	1			
評価と実践 I 1~2 1 5 2		小計(45科目)	_	0	92	0	10	1	2	0	0	6			小計	·(45科目)	_	0	92	0	7	1	3	0	0	6
評価と実践 3~4 1 1 5 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1			1~2	1				2								1	1~2	1				2	1			
K リーダーシップ 演習 とキャリア 演習 とキャリア S 代 仕事とキャリア S 代 仕事とキャリア N形成 I と 初年次セミナー 1春 1 1 K リーダーシップ 演習 仕事とキャリア 家 仕事とキャリア S 化 版 I と 社事とキャリア N形成 I と 初年次セミナー 1春 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 1 1<																										
U I S N I S I V I S N I I S I V I S N I I S I V I S I S I S I I S I S I S I S		K リーダーシップ			1			-				1				リーダーシップ		•								
No continue		┃		ر ا	'			4				'			U	仕事とキャリア		,	'		4	9				
下成 II		・		4	_											形成 I 仕事とキャリア		۷				2				
ック 基礎演習 1秋 1 4 2 1 1 学習技術 1春 1 3 1 1 3 1 1 リサーチ入門 1春 1 2 1 3 1 1 3 1 1 1 3 2 2 1 3 3 1 1 基礎英語 1春 2 8 8 8 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		形成Ⅱ										_			Ť	形成Ⅱ		,								
ク 基礎漢音 1秋 1 4 2 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 1 3 1 1 1 3 1 1 1 3 1 1 1 3 1 1 1 3 1 <t< td=""><td></td><td> ", </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 .</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></t<>		",										1 .			-								1			
リサーチ入門 1春 1 2 基礎英語 1春 2 総合英語 1秋 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 5 1 6 1 7 1 8 1 9 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 5 1 6 1 8 1 9 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 </td <td></td> <td>ク 基礎演習</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td>		ク 基礎演習						2				1						•				2	1			1
基礎英語 1春 2 1 基礎英語 1春 2 5 総合英語 1秋 2 1 1 1 2 6				1			3		1			3						1			3	1	1			3
		\vdash	1春	1								2					1春	1								2
					2							1							2							5
┃ _		1 1 1 1	1秋		2							1				I I T	1秋		2							6
			2春		2							1				総合英語 Ⅱ	2春		2							6

基		第	オーラル イングリッ オーラル	1秋	Ī	1							1	基		第	オーラル イングリッ オーラル	1秋		1							3
盤		外	イングリッ オーラル	2春		1							1	盤		外	イングリッオーラル	2春		1							2
教		国語	イングリッ インテン	2秋 1春		1							1	教		国語(イングリッ インテン	2秋 1春		1							1
育		英 語	シブイン インテン シブイン	- 1秋		1							1	育		英 語	シブイン インテン シブイン	_ 1秋		1							1
科	コモ	\smile	英語 I	1春		4							1	科	コモ	$\overline{}$	英語 I	1春		4							1
目	ンベ		英語Ⅱ	1秋		4							1	目	ンベ		英語Ⅱ	1秋		4							1
	シ		英語Ⅲ 英語Ⅳ	2春 2秋		4							1		 シ		英語Ⅲ 英語Ⅳ	2春 2秋		4							1 1
	ックス	第	中国語 I	1春		2							1		ックス	第	中国語 I	1春		2							1
	^	2 外	中国語 II 韓国·朝	1秋		2							1		^	2 外	中国語 Ⅱ 韓国·朝	1秋		2							1
		国語	鮮語 I 韓国・朝	1春 1秋		2							1			語語	鮮語 I 韓国・朝	1春 1秋		2							1
		留	鮮語Ⅱ 日本語Ⅰ	1春・秋		2							1			留	鮮語Ⅱ 日本語Ⅰ	1書・秋		2							1
		学生	日本語Ⅱ	1春・秋		2							1			学生対象	日本語Ⅱ	1春・秋		2							1
		対象の	日本語Ⅲ			2							1			対象の	日本語Ⅲ			2							1
		日	日本語Ⅳ			2							1			日本	日本語Ⅳ	1春・秋		2							1
	<u> </u>	本語	日本語V	1春•秋		2							1			語	7 73 7	1春・秋		2							1
			ミック日 * 万プ	2春		1							1				ミック日 <u>*</u> 語デ	2春		1							1
		留	ミック日 古琴品 _ラ	2秋		1							1			留	ミック日 古琴品 _フ	2秋		1							1
		学生	イティン 苔 本 _{品 フ}	2春		1							1			留学生	イティン 苔 本 _{詰 フ}	2春		1							1
		ᅺ	イティン	2秋		1							1			対	イティン ビジィス	2秋		1							1
		日日	グリット 日本語 こシャへ	2春		1							1			の日	日本語	2春		1							1
	コモ	本語	日本語 π	2春		1							1		コモンベ	本語	日本語	2春		1							1
	ンベー		専門日 本語 I	2秋		1							1		ンベー		専門日 本語 I	2秋		1							1
	ーショ		専門日 本語 Ⅱ	2秋		1							1		ーショ		専門日 本語 Ⅱ	2秋		1							1
	ックス		ICTリテ ラシー	1春	2			2					1		ツクス		ICTリテ ラシー	1春	2			2	1	1			2
		情	ICT活用 A	1秋		2		1								情	ICT活用 A	1秋		2		1		1			1
基		報	ICT活用 B	2春		2				1				基		報	ICT活用 B	2春		2				1			
盤			ICT活用 C 生涯ス	2秋		2		1						盤		<u> </u>	ICT活用 C 生涯ス	2秋		2		1					
教		スピ ノポル	ポーツ I 生涯ス	1春 1秋		1							1	教		ス { ポ ポ	生涯ス ポーツ I 生涯ス	1春 1秋		1							1
育		小計	ポーツⅡ (44科目)	「 介入 一	10	64	0	10	2	2	0	0	18	育		<u>'</u>	ポーツⅡ -(44科目)	- TAX	10	160	0	10	2	2	0	0	18
科			人間学	1春	2					-	-		3	科			人間学	1春	2		•		-	-	•	-	3
目		人間	」 人間学 Ⅱ	1秋	2			1					2	目		人間(」 人間学 Ⅱ	1秋	2			1					2
		の理解	ー 倫理と社 会生活	1秋		2							1			の理解	ー 倫理と社 会生活	1秋		2							1
		解	人権と法	1春		2							1			解	人権と法	1春		2							1
	IJ	社	近現代 の歴史	1秋		2							1		IJ	社	近現代 の歴史	1秋		2							1
	ベラ	会	日本国憲法	1春		2							1		ベラ	会	日本国 憲法	1春		2							1
	ルアー	と生活	国際社 会と政治 社会階	1春		2							1		ルア	と生活	国際社 会と政治 社会階	1春		2							1
	ーツ		層と文化	1秋		2							1				層と文化	1秋		2							1
		科学	深元こ立 活 データサ	1秋		2							1			科学	へっこエ 活 データサ	1秋		2							1
		子とル	・ イエンス 生命と倫	1秋		2		1					4			子と	・ イエンス 生命と倫	1秋		2		1					
		活	環活ディ生理情点 ドイエの サス倫 と と せ と せ と も と も と も と と も と と も と と も も と	1秋 1春		2		1					1			注	環 活 デ エ イ 生 理 報 と せ と せ と と せ と と せ と と と と と と と と と	1秋 1春		2		1					1
			<u>会</u> (12科目)	-	4	20	0	3	0	0	0	0	13				<u>会</u> ·(12科目)	-	4	20	0	3	0	0	0	0	13
基		グロ タデ	ーバルス ィ I	2夏		1		5						基		グロ タデ	ーバルス ィ I	2夏		1		4					

盤	グ	グローバルス タディⅡ	2夏		2		1		1			
教		グローバルス タディⅢ	2夏		3		1					
育	バル	地域研究(欧 米圏)	1秋		2							1
科	スタ	地域研究(ア ジア圏)	1秋		2							1
目	ディ	日本事情(日 本社会)	1秋		2							1
		日本文化論	1春		2							1
	<i> </i>	サービスラー ニングA	1夏		1		1					
	ュ ニ テ	サービスラー ニングB 地域防災減	1夏		2							1
	ィス	地球防災減 災論	1春・冬		2		1					
	ス	災害と安全	1冬		2							3
	タデ	ボランティア論	1春		2							1
	#±	特別研究 I	×		1				1			
	特別	特別研究Ⅱ	*		2							1
	研究	特別研究Ⅲ	Ж		3							1
	"	特別研究Ⅳ	*		4							1
		課題研究 I	×		4		1					
	課題	課題研究Ⅱ	×		8		1					
	研究	課題研究Ⅲ	×		12		1					
	^ૠ	課題研究Ⅳ	×		16		1					
	小計	(20科目)	_	0	73	0	7	0	2	0	0	9
	合計	(144科目)	-	54	275	0	12	2	2	0	0	40

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コモンベーシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計54単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、展開科目より30単位以上、基盤教育科目「コモンベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より4単位以上、「グローバルスタディ」及び「コミュニティスタディ」より1単位以上の計52単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から20単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))

盤	グ	グローバルス タディⅡ	2夏		2		1		1			
教		グローバルス タディ田	2夏		3		1					
育	バル	地域研究(欧 米圏)	1秋		2							1
科	ス	ル国/ 地域研究(ア ジア圏)	1秋		2							1
目	タディ	日本事情(日 本社会)	1秋		2							1
		日本文化論	1春		2							1
	1111	サービスラー ニングA	1夏		1		1					
	ミュニテ	サービスラー	1夏		2							1
	ナイ	ニングB 地域防災減 災論	1春・冬		2		1					
	ィスタデ	災害と安全	1冬		2							3
	゛、	ボランティア論	1春		2							1
		特別研究 I	Ж		1				1			
	特 別	特別研究Ⅱ	*		2							1
	研究	特別研究Ⅲ	Ж		3							1
	九	特別研究IV	*		4							1
		課題研究I	Ж		4		1					
	課題	課題研究Ⅱ	*		8		1					
	研究	課題研究Ⅲ	*		12		1					
	<i>7</i> 0	課題研究Ⅳ	*		16		1					
	小計	(20科目)	-	0	73	0	7	0	2	0	0	9
合計	(146	科目)	_	22	257	###	12	2	2	0	0	40

卒業要件及び履修方法

必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コモンベーシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計54単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、展開科目より30単位以上、基盤教育科目「コモンベーシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より4単位以上、「グローバルスタディ」及び「コミュニティスタディ」より1単位以上の計52単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から20単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))

【令和元年度】

- ・教育効果を高めるため、「経営学概論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「経済学概論」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更し、専任教員の配置を「講師1」から「教授1」「講師 1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「マーケティング」の配当時期を「1秋」から「1春」に変更。 ・教育効果を高めるため、「ファイナンス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成整理のため、「業界研究実習」を「業界研究」に名称変更し、教育効果を高めるため、専任教員の配置を「教授3」か ら「教授4」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「プロジェクトマネジメント演習 I 」の専任教員の配置を「教授2」「講師2」から「教授4」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「マネジメント専門演習」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「講師3」から「教授2」「准教授2」 「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授9」「准教授2」「講師3」から「教授10」「准教授2」「講師2」に 変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「公共サービス論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「コミュニティビジネス」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「地域マネジメント」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「インバウンドツーリズム産業論」と「観光実務論」の2科目を基幹科目から展開科目へと設定を変更。
- ・教育内容の充実を図るため、基幹科目に「観光産業論」を新規科目として追加し、専任教員「教授1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、「アジア文化論」の教員配置を「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「サービス企画論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「観光実務特論」を新規科目として追加し、専任教員「教授1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「実用英語A」と「実用英語B」の2科目を追加し、兼任教員を各1名ずつ配置。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「コスメティック論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「セレモニー産業特論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「環境保全論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「公共サービス特論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「フードセキュリティ」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教員組織調整に伴い、「マーケティングリサーチ」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「インターネットマーケティング」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「アジアマーケティング論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」「評価と実践Ⅱ」の専任教員の配置を各「教授5」「講師2」から各「教授5」「准教授2」 に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「仕事とキャリア形成Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更し、さらに 兼担教員を1名追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「基礎演習」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更し、さらに兼担教 員を1名追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「学習技術」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授3」「講師1」に変更し、さらに兼担教員
- ・教育内容の充実を図るため、「リサーチ入門」の兼担教員の「兼担1」から「兼担2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「インテンシブイングリッシュ I」の配当時期を「1夏」から「1春」に変更。 ・教育効果を高めるため、「インテンシブイングリッシュ II」の配当時期を「1冬」から「1秋」に変更。 ・教育効果を高めるため、「日本語 I」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。 ・教育効果を高めるため、「日本語 II」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。

- ・教育効果を高めるため、「日本語皿」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。 ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅳ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語V」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語 I」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語 II」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティング I」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティング II」の配当時期を「1秋」から「2春」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティング II」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。

- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語 I」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。 ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅱ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語 I」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「データサイエンス」の教員配置を「兼担1」から専任教員の「教授1」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「グローバルスタディI」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授5」に変更。 ・教育内容の充実を図るため、「サービスラーニングA」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員組織調整のため、「サービスラーニングB」の教員配置を専任教員「講師1」から「兼担1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「地域防災減災論」の配当時期を「1冬」から「1春・冬」の2回開講に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「特別研究Ⅰ」の教員配置を「兼担1」から専任教員の「講師1」に変更。

【令和2年度】

```
を育内容の充実ため、ビジネス統計学の担当者を「教授1」から「教授2」に変更

教員間調整のため、業界研究の担当者を「教授4」から「教授3、講師1」変更

教員間調整のため、プロジェクトマネジメント演習I~IVの担当者を変更

教員間調整のため、マネジメント専門演習の担当者を変更

教員間調整のため、コミュニティビジネス、地域マネジメントの担当者を変更

教育内容の充実ため、発想法の担当者を「准教授1」から「教授2、准教授2、講師1」に増

教員間調整のため、鋭光実務特論の担当者を変更

教員間調整のため、公共サービス特論の担当者を変更

教員間調整のため、システーンシップI、IIの担当者を変更

教員間調整のため、評価と実践I、IIの担当者を変更

教員間調整のため、評価と実践I、IIの担当者を変更

教員間調整のため、社事とキャリア形成Iの担当者を変更

教員間調整のため、初年次セミナーの担当者を変更

教員間調整のため、初年次セミナーの担当者を変更

教員間調整のため、基礎演習の担当者を変更

教員間調整のため、基礎演習の担当者を変更
```

【令和3年度】

```
専任教員の異動により、「ビジネス統計学」の担当者を教授1 から 兼担1に変更
教員の科目調整により、「業界研究」の担当者を 教授4 准教授1に変更
教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習 I」の担当者を教授 4、准教授 1 に変更
教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習 II」の担当者を教授 5、准教授 1 に変更
教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」の担当者を教授 6、講師 1 に変更
教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅳ」の担当者を教授 5、准教授 2、講師 1 に変更
教員の科目調整により、「マネジメント専門演習」の担当者を教授 5、准教授 2、講師 1 に変更
教員の科目調整により、「地域経営論」の担当者を、講師1から兼任1に変更
教員の科目調整により、「防災・復興組織論」の担当者を、教授1から准教授1に変更
教員の科目調整により、「経営戦略論」の担当者を、教授2、講師1から、教授2に変更
教育の充実を図るため、「経営分析」の担当者を、教授1から、教授1、准教授1に変更専任教員の異動により、「ビジネスコミュニケーション技法」の担当者を、兼担1から教授1に変更教員の科目調整により、「発想法」の担当者を、教授2、准教授2、講師1に変更教員の科目調整により、「危機管理リーダーシップ論」の担当者を、教授1から講師1に変更
定員増と教員の科目調整により、「評価と実践Ⅰ」の担当者を教授8、准教授1、講師1に変更
教員の科目調整により、「評価と実践Ⅱ」の担当者を教授2、准教授1に変更
教員の科目調整により、「仕事とキャリア形成I」の担当者を教授2、准教授1に変更
教員の科目調整により、「仕事とキャリア形成Ⅱ」の担当者を教授1に変更
教員の科目調整により、「初年次セミナー」の担当者を教授5、准教授3、講師1に変更
定員増と教員の科目調整により、「基礎演習」の担当者を教授4、准教授2、講師1に変更
定員増と教員の科目調整により、「学習技術」の担当者を教授5、准教授2、兼担1に変更
教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」の担当者を教授2、准教授1、講師1、兼担2から、教授3、准教授1、兼担2に変更
教員の科目調整により、「グローバルスタディI」の担当者を教授4から教授3に変更
教員の科目調整により、「グローバルスタディⅡ」の担当者を教授1から講師1から教授2に変更
専任教員の異動により、ビジネスコミュニケーション技法の担当者を、兼担1から教授1に変更
専任教員の異動により、「日本文化論」の担当者を、兼担1から教授1に変更
教育内容の充実を図るため、「基礎英語」の担当者を兼任1から兼任5に変更
教育内容の充実を図るため、「総合英語I」の担当者を兼任1から兼任5に変更
教育内容の充実を図るため、「基礎英語II」の担当者を兼任1から兼任5に変更
教育内容の充実を図るため、「基礎英語II」の担当者を兼任1から兼任5に変更
教育内容の充実を図るため、「オーラルイングリッシュI」の担当者を兼任1から兼任5に変更
```

- (注)・ 2 (1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		設置印	時の計画							変更	状況				備考
必修	X	選択	自	曲	計(A	١)	必化	多	選択	,	自	±	計)佣 行
22	科目	118 科E	0	科目	140	科目	22 [0	科目	132 [24	科目	0	科目	154 [24	科目	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	環境保全論	2	2秋	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
2	フードセキュリティ	2	3 秋	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
3	安全安心社会特論	2	3 秋	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
4	日本史概説	2	1 秋	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
5	近代社会論	2	1 秋	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
6	英語 I	4	1春	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
7	英語Ⅱ	4	1 秋	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
8	英語皿	4	2春	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定
9	英語Ⅳ	4	2秋	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり 次第、開講する予定

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単	位 娄	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、担当教員が見つかり次第開講する予定である。学生に対しては、ガイダンス等における案内の他、WEB上の履修システムと、コロナ対応のため電話やメールにて案内を行なっている。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目(3)と廃止科目(4)の計
 =
 9
 =
 6.42
 %

 設置時の計画の授業科目数の計(A)
 =
 140
 =
 6.42
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内						:					備考
(1)		区	分		専		用		共	用			用する				計		神戸山手大学現代社会
		校台	計 數 均	也		542 r 50.6 r			0	m [*]			0 m				, 542 ı 150. 6 ı		- 学部設置者変更による 増 (令2)
校		運動	場用地	3	37, 38,	019 r 913 r 543. 3	n ¹			320㎡ - ㎡			0 m	1		70 72	, <mark>839</mark> ı 2, 733 n 543. 3	m ¹	財産目録との整合させる ための修正 (令2) 尼崎キャンパス運動場の
地		小	討	†	73,	561 m 455 m 393.8	å			320㎡ - ㎡			0 m	ı		10	5, <mark>381</mark> 1 7, 2751 693. 8	m	_売却による(令3)
等		そ	の他	1		769 m			0	m²			0 m	ı			3, 769 n 068. 5		- 運動用地は校舎敷地と
		合	計	-	97 ,	330m 224m 762. 3	å			320m² - m²			0 m	1		13), <mark>150</mark> 1, 0441 762. 3	m	別地 (徒歩20分)
					専	,	用		共	用			用する 校等の				計		H=1.71#71/11/
(2) 校			舎		31, 5 (56,	099 m 36. 95 099 m 536. 9	์m ์ ก๋)		0	m ² 0 m ²)		(0 m	0 m²)		31, (56	5, 099 n 536, 95 6, 099 n	m	- 神戸山手大学現代社会 学部設置者変更による 増(令2)
				講		330. 5	河 河 演 習	室室	!	実験:	実習室		情報如	D理学習	施設		. 030. c 学学習		語学学習施設は情報処 理学習施設と併用
(3) 教		室	等		87	室	7	1	室		15	室	(補助!	6 能員 8	室	(補助	0 職員	室 ()	
		新				新設学部	等の名	各称					室	,	数			平成31年4月	
(4) 専	4)専任教員研究室					糸	圣営学部	経営	学科					2 1 1 1	8 6			室	採用のため(令) 令和2年4月 専任教授2名を新規 採用のため(令2) 令和3年4月 専任教員の異動及び採用 のため(令3)
				[3	図 書		学術	雑誌					視聴覚	企	機械	架目	標	本	
(5)	亲	新設学部 の名和		〔う	ち外国書〕		〔うちタ	十国書	:)	電子ジ	ャーナ	ル	T元 4心 5	2.貝介	1)及1)及	加元	1示	4	
						m			種	〔うち:	外国書)		点		点		点	i
図書		大学全	体	308,	000 (20, 630)	3,000	(270)		3,	429		8,2	03	6, 8	520		51	大学全体の数
• 設				284, 1	01 (20, 511))	2, 813	(266)		[18	883]				(5, 7	734)	(51)	
備		計			000 (20, 630		3,000				429		8,2	03	6, 8			51	
				284, 1	01 (20, 511)		2, 813	(266)			383]				(5, 7			51)	
(6) 図	図 書館 面 積 15,156 ㎡						閲覧!		数		収		可 前		数	-			
									/1	9席	会立いした	外のスオ	-° ∨, 		34, 053 	1111			
(7) 体		育	館			面 積 3115 ㎡				テニス:			/rwx/i		フット		<u> </u>		-
				<u> </u> ∡	分		設年度		成年度				開設前		開設		1	四 成年度	
(8)		経費 の見			研究費等		261千円		261千					71千円		· /~ 71千円	1	· <u>···································</u>	-
経費の 積り及	見	積り	共 同 研 究 費 等 7,120千円		7,	120千		 講入		34, 2	81千円	34, 2	81千円		, 281千円	┥			
維持方	法	学生 1	大当り 第1年次 第2年次 大当り 第1年次 第2年次					第 3	 3 年次	第	64年	次	第	5 年次		第 6	年次	1	
1270		納作			1, 459千円		1, 159 T	-円	1	, 159千円		1, 1	59千円		Ŧ	-円		千円	3
		学生	納付金	以外の紅	維持方法の	持方法の概要 手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。													

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	関西国	際大学					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度			
心理学部			人			1. 1	1. 08				令和3年4月名	. 称変更
経営学科	4	-	_	_	学士 (経営学)	-	-		平成23年	兵庫県三木市志染町 山1丁目18番	· 事 中成31年4月	募集停止
心理学科	4	125	0	500	学士 (行動科 学)	1. 08	1. 08		平成19年	兵庫県神戸市中央区記 訪山町3番1号	^取 令和3年4月名	· 称変更
教育学部						1	0. 72					
教育福祉学科	4	150	0	600	学士 (教育福祉	0. 99	0. 72		平成19年	兵庫県尼崎市潮江1丁		
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学) 学士 (英語学)	-	-		平成19年	目3番23号	平成31年4月	募集停止
経営学部												
経営学科	4	175	3 年次 20	740	学士 (経営学)	1. 11	1. 13	令和3年	平成31年	兵庫県三木市志染町市 山1丁目18番	^青 令和3年4月定	2員増
国際コミュニケーション学部						0. 95	0. 74					
英語コミュニケーション学科	4	75	0	300	学士 (英語学)	0. 96	0. 79	令和3年	平成31年	兵庫県神戸市中央区記 訪山町3番1号	取	
<u>観光学科</u>	4	80	-	320	学士 (観光学)	0. 7	0. 7		令和3年	兵庫県神戸市中央区記 訪山町3番1号	取	
保健医療学部						1. 04	0. 98					
<u>看護学科</u>	4	100	0	400	学士 (看護学)	1. 04	0. 98	令和2年	平成25年	兵庫県三木市志染町 山1丁目18番	令和2年4月定	2員増
現代社会学部						_	_					
観光学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設 令和3年4月学	
総合社会学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設 令和3年4月学	
<u>社会学部</u> <u>社会学科</u>	4	100	-	400	学士 (学術)	0. 79 0. 79	0. 79 0. 79		令和3年	兵庫県神戸市中央区記 訪山町3番1号	取	
大学全体	-	805	30	3260		1. 04	0. 91		-			
大学の名称	関西国	際大学ス	大学ウイ	ン			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0 備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍					
人間行動学研究科			人			0.8	0. 94		平成17年			
人間行動学専攻	2	8	_	16	修士 (人間行動		0. 63		平成17年	兵庫県三木市志染町 山1丁目18番	青	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	学) 修士 (臨床教育	1. 09	1. 25		平成26年	兵庫県尼崎市潮江 丁目3番23号	1	
<u>看護学研究科</u> 看護学専攻					学)							
博士前期	2	6	-	12	修士 (看護学)	0. 37	0. 17		平成27年	兵庫県三木市志染 町青山1丁目18番		
<u>博士後期</u> 大学院全体	3 -	2 24	-	6 50	博士 (看護学)	1. 25 0. 69	1 0. 67		令和2年			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1) 一① 担当教員表

) H) 🔨	は届出時】 		可元年. T	\$ 		□2年			13年	文』
算任・ 乗担・ 乗任 O別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		山下 泰生 (59) 〈平成31年4月〉 理学士			山下 泰生 (59) 〈平成31年4月〉 理学士			山下 泰生 (60) 〈平成31年4月〉 理学士			山下 泰生 (61) 〈平成31年4月〉 理学士
専	(副学 長) (学部	卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 I 初年次もと 基習 学で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	(学部 長)	卒業研究 評価と実践Ⅱ ICTリテラシー 情報と社会 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	専	教授 (副長) (学長)	卒業研究 評価と実践Ⅱ ICTリテラシー 情報と社会 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅲ	専	教授 (副長) (学長)	卒業研究 評価と実践Ⅱ ICTリテラシー 情報と社会 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ
	教授(学長)	浮田 泉 (58) 〈平成31年4月〉 修士(経営学) 修士(経済学)			浮田 泉 (58) 〈平成31年4月〉 修士(経営学) 修士(経済学)			浮田 泉 (59) 〈平成31年4月〉 修士(経営学) 修士(経済学)			浮田 泉 (60) 〈平成31年4月〉 修士(経営学) 修士(経済学)
専	(学科 長)	77 付ンス 卒業簿記 財務会計論 原経営分析 評価と実践 I 評価と実践 I 評価と実践 I が 中小 ルタディ I	専		ファインス 卒業簿記 財務会計 原経価のと 野価のと 野価のと で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	教授 (学科 長)	ファインス 卒業簿記 財務会計 原経営 受と が 事 が ロ は で は が は で で で で で で で で で で で で で で で	専	教授 (学科 長)	ファインス 卒業研究 商業簿記 財務会計論 原価会計 経営分析 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演術 ICTリテラシー ケ・ローハ・ルスタテ・ィエ プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II
		陳 那森 (55) (平成31年4月) 修士 (理学) 博士 (工学)			陳 那森 (55) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)			陳 那森 (56) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)			陳 那森 (57) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)
専	教授	卒業研究 インターンシップ。I インターンシップ。II 評価と実践 I 評価と実践 I 基礎演習 ICTリテラシー ICT活用A ICT活用C ケ・ローハ・ルスタデ・ィ I	専	教授	卒業研究 マネジ・メント専門演習 インターネットマーケティンク・ 国際経営論 インターンシップ。 I インターンシップ。 II 評価と実践 II 学習技術 ICT活用A ICT活用C デ・タサイエンス ク・ローハ・ルスタディ I	専	教授	卒業研究 プ゚ロジェクトマネジメント演習Ⅱ プ゚ロジェクトマネジメント演習Ⅲ マネジメント専門演習 発想法 インターンシップⅡ インターンシップⅡ 評価と実践 I 評価と実践 I 評価と実践 I だ活用A ICT活用A ICT活用C データサイエンス グローバルスタディ I	専		卒業研究 プロジェクトマネジ・メント演習 II アプロジェクトマネジ・メント演習 II マネジ・メント専門演習 発想法 インターンシップ II 行ンターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 I 評価と実践 I で習技術 ICT活用A ICT活用C データサイエンス グ・ローハ・ルスタテ・ィ I
		肖 威 (54) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			肖 威 (54) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			肖 威 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (経営学)			肖 威 (56) 〈平成31年4月〉 博士 (経営学)
専	教授	経営学概論 ビッジ 4ス統計学 マネッジ メント専門演習 卒業研究 アッジ アマーケティング 論 経営戦略論 国際経営論 インターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 I 評価と実践 I	専		経営学概論 マネジ・メント専門演習 卒業研究 アジ・アマーケティング・論 経営組織論 インターンシップ・II 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 グ・ローバ・ルスタデ・ィ I	専	教授	経営学概論 マネジ・メント専門演習 卒業研究 アジ・アマーケティング・論 経営組織論 インターンシップ・II 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 グ・ローバ・ルスタデ・ィ I	専	教授	経営学概論 マネジ・メント専門演習 卒業研究 アジ・アマーケティング・論 経営戦略論 経営組織論 インターンシップ。II 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 グ・ローバ・ルスタデ・ィ I プ・ロッ・エクトマネジ・メント演習IV
					古田 龍輔 (67) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			古田 龍輔 (68) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			
			専		経営学概論 卒業研究 企業危機管理論 サービネ企画論 コンプ・ライアンス 顧客満足論 評価と実践 II	専	教授	経営学概論 卒業研究 サービス企画論 コンプライアンス 顧客満足論 経営戦略論 評価と実践 II			

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		吹春 俊隆 (69) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)			吹春 俊隆 (69) 〈平成31年4月〉 修士 (経済学)						
専	教授	経済学概論 プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 I プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II プ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 IV 卒業研究 インターンシップ・ I インターンシップ・ I 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次セミナー	専	教授	経済学概論 プロジェクトマネジ・メント演習Ⅱ プロジェクトマネジ・メント演習Ⅲ プロジェクトマネジ・メント演習Ⅳ インターンシップ。Ⅱ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習						
		李 容淑 (61) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			李 容淑 (61) 〈平成31年4月〉 修士 (経営学)			李 容淑 (62) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			李 容淑 (63) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
専	教授	業界研究実習 プ・ログ・エクトマネジ・メント演習Ⅲ プ・ログ・エクトマネジ・メント演習Ⅲ プ・ログ・エクトマネジ・メント演習Ⅳ 卒業研究 インバ・ウント・ツーリス・ム産業論 観光実務論 は光実務論 インバ・ウント・プール・ が年次セミナー 基礎スリーハ・ルスタテ・ィ I	専	教授	業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 IV 観光産業論 観光産業特論 観光実務特論 インパ・ウント・ツーリス・ム産業論 インパ・ウント・商品企画演習 インターンシップ。 I グローバ・ルスタテ・ィ I	専		業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II 競光産業論 観光産業論 観光産業特論 観光実務論 インハ・ウント・ツーリス・ム産業論 インハ・ウント・商品企画演習 評価と実践 I 評価と実践 I	専	教授	業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II マネジ・メント専門演習 観光産業論 観光産業特論 観光実務論 インハ・ウント・ツーリズ・ム産業論 インハ・ウント・商品企画演習 評価と実践 I 評価と実践 I 初年次セミナー
		本田 あけみ (62) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)			本田 あけみ (62) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)			本田 あけみ (63) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)			本田 あけみ (64) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)
専		業界研究実習 プロジェクトマネジ・メント演習 I 空業研究 ビューティビ・ジ・ネス論 ビューティ技術論 ビューティ・コーテ・ィネーター論 コスメティック論	専	教授	業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I 卒業研究 ビューティヒ・ジ・ネス論 ビューティ技術論 ビューティ・コーテ・ィネーター論 コスメティック論 仕事とキャリア形成 II 学習技術	専		業界研究 プ ロジ ェクトマネジ メント演習 I 卒業研究 ビ ユーティビ ジ ネス論 ビ ユーティ技術論 ビ ユーティ・コーデ ィネーター論 コスメティック論 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 I 学習技術	専		業界研究 プ ロジ ェクトマネジ メント演習 I 卒業研究 ピューティ 比 が ネス論 ピューティ 技術論 ピューティ・コーテ ィネーター論 コスメティック論 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 I 学習技術
		藤木 清 (50) 〈平成31年4月〉 修士(商学)			藤木 清 (50) 〈平成31年4月〉 修士(商学)			藤木 清 (50) 〈平成31年4月〉 修士(商学)			
専	教授	プ ロジ ェクトマネシ メント演習 I プ ロジ ェクトマネシ メント演習 II プ ロジ ェクトマネシ メント演習 II マ ロジ ェクトマネシ メント演習 II マネジ メント専門演習 卒業研究 サービ ス企画論 コミュニティビ シ ネス 地域経営概論 フート セキュリティ インターンシップ II リサーチ入門	専		ビジ <mark> </mark>	専	教授	ビジ : 払統計学 卒業研究 発想法 評価と実践 I 評価と実践 I 数年次セミナー 基礎演習			
		村田 昌彦 (62) 〈平成31年4月〉 工学士			村田 昌彦 (62) 〈平成31年4月〉 工学士			村田 昌彦 (63) 〈平成31年4月〉 工学士			村田 昌彦 (64) 〈平成31年4月〉 工学士
専	教授	業界研究実習 卒業研究 セーフティマシャント論 危機管理・防災演習 危機管理リータ・ーシップ。論 元業危機管理論 企業防災協力 ケ・ローハ・ルスタテ・ィⅡ	専	教技	業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I 卒業ので、 セーフティマネジ・メント論 危機で理理人科 危機・管理リーダ・ーシップ。論 コミュニティび、協力 国際防と実践エーが、ローハ、ルスタテ、ィ I サービ、スラーニンク、A 地域防災減災論	専		業界研究 プ・ロジ・ェクトマネジ・メント演習 I プ・ロジ・ェクトマネジ・メント演習 I プ・ロジ・ェクトマネジ・メント演習 I ア・ロジ・ェクトマネジ・メント演習 I ア・ロジ・エクトマネジ・メント演習 I 卒業研究 セーフティマネジ・メント論 危機管理入門 防災・復興組織論 危機管理リーダ・ーシップ・論 コミュニティ防災 国際防災協力 インターンシップ・ I 評価と実践 II ケ・ローハ・ルスタテ・ィ I サービ・スラーニング・A	専	教授	業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II アニフティマネジ・メント演習 II 卒業研究 セーフティマネジ・メント論 危機管理入門 防災・復興組織論 危機管理リータ・ーシップ・論 コミュニティ防災 国際防災協力 インターンシップ。 I 評価と実践 II グローバ・ルスタテ・ィ I サービ、スラーニング・A

〖任• ₹担• ₹任 〕別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	-	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	∤ 		担当授業科目名	┨		担当授業科目名	┨┡		担当授業科目名
		川脇 康生 (59) 〈平成31年4月〉 修士(経済学) 博士(国際公共政策)			川脇 康生 (59) 〈平成31年4月〉 修士(経済学) 博士(国際公共政策)			川脇 康生 (60) 〈平成31年4月〉 修士(経済学) 博士(国際公共政策)			川脇 康生 (61) 〈平成31年4月〉 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
事	教授	マーケティング 卒業研究 コンプ・ライアンス 顧客満足論 防災・復興組織論 安全安心社会特論 マーケティング・・リサーチ 経営組織論 人間学 II グ・ローハ・ルスケディ II 地域防災減災論	専	教授	卒業研究 安全安心社会特論 <mark>評価と実践 I</mark> 人間学 II が ローハ・ルスタディ I が ローハ・ルスタディ II	専		プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II 卒業研究 公共サービス論 安全安心社会特論 インターンシップ I 評価と実践 I 人間学 II グローバ・ルスタディ I グローバ・ルスタディ I	専	教授	プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 II ア
			専		坂上 英彦 (66) 〈平成31年4月〉 学士 (建築学) マーケティング・ 業界研究 プロジェケトマネジ・メント演習 I 卒業研究						
					公共サービス論 コミュニティビジネス 地域ヒマネジメント 公共サービス特論 フート、セキュリティ						
						- 兼任	講師	松本 茂樹 (59) (令和2年4月) 経営学士	兼任	E 講師	松本 茂樹 (60) (平成31年4月) 経営学士
								公共サービス特論			公共サービス特論
								高中 公男 (58) 〈令和2年4月〉 博士(学術)			
						専	教授	プロジェクトマネジ・メント演習 マネジ・メント演習 産業心理学			
						専	教授	高橋 慎二 (46) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)			
								マーケティング* インターンンシップ [®]			
											上村 和美 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (言語文化学)
									専	教授	I プロジェクトマネジメント演習 Ⅱ プロジェクトマネジメント演習 Ⅲ プロジェクトマネジメント演習 Ⅳ マネジメント専門演習
											マギ研究 ビジネスコミュニケーション技 法 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 学習技術
											佐藤 広志 (55) (令和3年4月) 教育学修士※
									専	教授	I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習
											IV マネジメント専門演習 卒業研究 初年次セミナー 基礎演習 学習技術

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									専	教授	堀上 明 (57) 〈令和3年4月〉 博士 (経営学) 経営学研究 学研究 フトマネジメント演習 I プロロンジェクトマネジメント コロロンジェクトマネジメントト コロロンジェクトマネジメントト コロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ
									専	教授	池田 敦 (67) 〈令和3年4月〉 修士 (経営学) マーオの (経営学) マーケティング 業の (大学) マーケティング 業の (大学) マーケティング 業の (大学) マーケティング 東の (大学) マーケティング 東の (大学) マーケティング 東の (大学) アーケティング 東の (大学) マーケティング 東の (大学) マーケティング 東の (大学) マーケー・
									専	教授	岡村 克彦 (60) 〈令和3年4月〉 学士 (経済学) 業界で、イントース・ファイン・ママン・ママン・マママママママン・アース・ファイン・アース・アース・ファイン・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース
専	准教 授	河内山 潔 (53) 〈平成31年4月〉 修士 (商学) 『本学》 『本学》 『本学》 『本学を表記 『でで、 『本学』 『本学を表記 『で、 『本学』 『本学》 『本学、『本学 『本学』 『本学、『本学 『本学、『本学 『本学、『本学 『本学、『本学 『本学、『本学 『本学、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、『、	專	准教 授	河内山 潔 (53) 〈平成31年4月〉修士(商学) 77付ンス マネジ・メント専門演習 卒業研究 発想法 ブ・ライダ・ル産業論 セルモニー産業議員 セルモニー産実践 I 評価とと実践 I 評価とキャリア形成 I 初年次セミナー 基礎演習	専	授	河内山 潔 (54) 〈平成31年4月〉修士 (商学) 77付ンスプロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II マネジ・メント専門演習 卒業想法 ア・ライタ・エル産業論 セレモニー産業論 セレモニー産業論 セレモニー産業	専	准教 授	河内山 潔 (555) 〈平成31年4月〉修士 (商学) 77 付ンス プログェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II アロジェクトマネジ・メント演習 II マネジ・メント専門演習 卒業研究 発想法 ア・ライダ・エル産業 論 セルモニー産業特論 商業簿記 評価と実践 II 評価と実践 II 評価と実践 II 評価とまキャリア形成 I 初年次セミナー 基礎演習
専	准教 授	鈴木 英之 (52) 〈平成31年4月〉 学士 (経済学) プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジ・ェクトマネジ・メント演習 Ⅲ プロジ・ェクトマネジ・メント演習Ⅲ プロジ・ェクトマネジ・メント演習Ⅲ アポジ・メント専門演習 卒業研究 評価と実践 Ⅱ がローバ・ルスタディ I	専	准教 授	鈴木 英之 (52) 〈平成31年4月〉 学士 (経済学) プロジェクトマネジ・メント演習Ⅳ マネジ・メント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習	専		鈴木 英之 (53) 〈平成31年4月〉 学士 (経済学) プロジェクトマネジ・メント演習IV マネジ・メント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習	専	授	鈴木 英之 (54) 〈平成31年4月〉 学士(経済学) プロジェクトマネシ・メント演習Ⅳ マネッ・メント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習
						専		谷花佳介 (43) 〈令和2年4月〉 博士 (経済学) 経済学概論 プロジェケス・マン・メント演習 II プロジェケス・マン・メント演習 II プロジェケス・マン・メント演習 IV 評価と実践 I 初年次セナー 基礎演習 国際経済論 情報と社会 (シターンシップ II	専		谷花佳介 (44) 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 経済学概論 プロジェクトマネジ・メント演習Ⅲ プロジェクトマネジ・メント演習Ⅲ プロジェクトマネジ・メント演習Ⅲ プロジェクトマネジ・メント演習Ⅳ マネジ・メント専門演習 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 国際経済論 情報と社会 インターンシップ・Ⅱ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		齋藤 勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			齋藤 勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			齋藤 勝洋 (49) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			齋藤 勝洋 (50) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
専	講師	プ ロジ ェクトマネジ メント演習 II プ ロジ ェクトマネジ メント演習 II プ ロジ ェクトマネジ メント演習 IV マネジ メント専門演習 卒業研究 インターネットマーケティング 広告論 評価と実践 II ICT活用B サービ、スラーニング B	専	講師	マーケティング プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 IV マネジ・メント専門演習 卒業研究 マーケティング・リサーチ 広告論 インターンシップ・II インターンシップ・II ICT活用B グローバ・ルスタテ・ィ II	専		マーケティング・フ・ログ・エクトマネジ・メント演習 II フ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II フ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 IV マネジ・メント専門演習 卒業研究 発想法 マーケティング・リサーチィンターネットマーケティング・広告論 インターンシップ・II ICTリテラシー ICT活用A ICT活用B グ・ローハ・ルスタテ・ィ II	専	講師	マーケティング・フ・ログ・エクトマネジ・メント演習 II フ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 II フ・ロジ・エクトマネジ・メント演習 IV マネジ・メント専門演習 卒業研究 発想法 マーケティング・リサーチィンターネットマーケティング・広告論 インターンシップ・II ICTリテラシー ICT活用A ICT活用B グ・ローバ・ルスタテ・ィ II
		林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)			林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)			林 万平 (39) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)			林 万平 (40) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
専		マネジ・メント専門演習 マネジ・メント専門演習 卒業研究 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント特論 公共サービ・ス論 国際経済論 ケ・ローハ・ルスタテ・ィ I	専	講師	経済学概論 プロジェクトマネジ・メント演習 II プロジェクトマネジ・メント演習 II マネジ・メント専門演習 卒業研究 地域経営概論 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント特論 危機管理・防災演習 国際経済論 学習技術 特別研究 I	専		経済学概論 業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジ・エクトマネジ・メント演習 I プロジ・エクトマネジ・メント演習 I マネジ・メント専門 卒業経営概論 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 地域マネシ・メント 大 ア と 選戦 と 国際 と と は に に に に に に に に に に に に に に に に に	専	講師	経済学概論 業界研究 プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 I プロジェクトマネジ・メント演習 I マロジェクトマネジ・メント演習 I マネジ・メント専門演習 卒業経営概論 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 地域マネジ・メント 特論 危機管戦略論 国際経営 経営戦略論 国際経営 経営戦略論 国際経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経営 経
								田中 綾子 (46) 〈令和2年4月〉 修士(人間文化学)			田中 綾子 (47) 〈令和2年4月〉 修士(人間文化学)
						専	講師	初年次セメナー 評価と実践 I プロジェクトマネジメント演習IV 評価と実践 II コミュニティ防災 マネジメント専門演習 人間学 II 危機管理入門 基礎演習 地域防災減災論	専	講師	初年次にた 評価と実践 I プロジェクトマネジ・メント演習IV 評価と実践 II コミュニティ防災 マネジ・メント専門演習 人間学 II 危機管理入門 基礎演習 地域防災減災論
											飯嶋 香織 (62) 〈令和3年4月〉 修士(教育学))
									専		プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究
									専	兼担	田中 栄治 (54) 〈令和3年4月〉 工学修士 サービスラーニングB
兼担	教授 (学長)	濱名 篤 (62) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学) 人間学 I ※	兼担	教授 (学長)	濱名 篤 (62) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学) 人間学 I ※	兼担	教授 (学長)	濱名 篤 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学) 人間学 I ※	兼担	教授 (学長)	濱名 篤 (64) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) 人間学 I ※
兼担	教授 (副学 長)	浅野 考平 (67) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) 人間学Ⅱ※ データサイエンス	兼担	教授 (副学 長)	浅野 考平 (67) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) 人間学Ⅱ※	兼担	教授 (副学 長)	浅野 考平 (68) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) 人間学Ⅱ※	兼担	教授 (副学 長)	浅野 考平 (69) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) 人間学Ⅱ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	7	体有字位等 ————————————————————————————————————		1	操有字位等 		1	保有字位等 			保有字位等
					濱名 陽子						 濱名 陽子
兼担	教授	(63) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	(63) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	(64) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	(65) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学Ⅱ※			人間学Ⅱ※			人間学Ⅱ※			人間学Ⅱ※
兼担	教授	上村 和美 (54) 〈平成32年4月〉 博士 (言語文化学) じ、ジ、ネスコミュニケーション技法 日本文化論	兼担	教授	上村 和美 (54) (平成31年4月) 博士(言語文化学) ビジ ねコミュニケーション技法 日本文化論 学習技術	兼担	教授	上村 和美 (55) (平成31年4月) 博士 (言語文化学) ビッジ ネスコミュニケーション技法 日本文化論 学習技術 ICT活用A			
兼担	教授	川畑 摩紀枝 (59) 〈平成31年4月〉 Ph.D in Nursing(加国) 人間学I※									
兼担	教授	越山 泰子 59 〈平成31年4月〉 Ph. D in Education(米国) グローバルスタディ皿	兼担	教授	越山 泰子 59 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	兼担	教授	越山 泰子 60 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)	兼担	教授	越山 泰子 (61) 〈平成31年4月〉 Ph.D in Education(米国)
		アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I 地域研究(欧米圏)			アカデミック日本語 I アカデミック日本語 II			アカデミック日本語 Ι アカデミック日本語 Ⅱ			アカデミック日本語 I アカデミック日本語 Ⅱ
兼担	教授	太田 裕彦 64 〈平成31年4月〉 学術博士	兼担	教授	太田 裕彦 64 〈平成31年4月〉 学術博士	兼任	教授	太田 裕彦 65 〈平成31年4月〉 学術博士	兼任	教授	太田 裕彦 (66) 〈平成31年4月〉 学術博士
		災害と安全			災害と安全			災害と安全			災害と安全
兼担	教授	広沢 俊宗 63 〈平成31年4月〉 修士(社会学)	兼担	教授	広沢 俊宗 63 〈平成31年4月〉 修士(社会学)	兼担	教授	広沢 俊宗 64 〈平成31年4月〉 修士(社会学) <mark>発想法</mark>	兼担	教授	広沢 俊宗 (65) 〈平成31年4月〉 修士(社会学) 発想法
		産業心理学			リサーチ入門			マーケティング [*] リサーチ 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 I			マーケティング・リサーチ 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 I
			兼担	准教 授	谷口 一也 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (バイオサイエンス) 人間学 I ※ サーピスラーニングB						
兼担	准教 授	横川 滋章 50 〈平成31年4月〉 修士(心理学)	兼担	准教 授	横川 滋章 50 〈平成31年4月〉 修士(心理学)	兼担	教授	横川 滋章 51 〈平成31年4月〉 修士(心理学)			
		災害と安全 特別研究 I 特別研究 Ⅱ			災害と安全 特別研究 II			災害と安全 特別研究 II			
兼担	准教 授	清水 拓野 47 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	准教 授	清水 拓野 47 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	准教授	清水 拓野 48 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	准教授	清水 拓野 (49) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		中国語 I 中国語 II 地域研究(アジア圏) アジア文化論		1.0	中国語 I 中国語 II		12	中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II
		伊藤 創 41 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)			伊藤 創 41 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)			伊藤 創 42 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)			伊藤 創 (43) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
兼担	授	日本事情 (日本社会) インテンシブ インケ リッシュ I インテンシブ インケ リッシュ II 英語 I 英語 II 英語 II 英語 II 英語 IV	兼担	准教 授	日本語ライティング I 日本語ライティング II 日本事情(日本社会)	兼担	准教 授	日本語ライティング I 日本語ライティングⅡ 日本事情(日本社会)	兼担	准教 授	日本語ライティング I 日本語ライティング II 日本事情(日本社会)
兼担	講師	板山 昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士(人間文化学)	兼担	講師	板山 昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士(人間文化学) 産業心理学	兼担	講師	板山 昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士 (人間文化学) 産業心理学			
		災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ			災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ			災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究IV			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	講師	中嶌 康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 リザーチ入門	兼担	講師	中嶌 康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 初年次セミナー 基礎演習 学習技術			
					ICTU775>-			ICTリテラシー	兼担	教授	山本 敏幸 (65) 〈令和3年4月〉 PHD
									兼担	教授	南畑 淳史 (35) 〈令和3年4月〉 博士 (工学)
兼任	講師	中山 美佐子 (55) 〈平成31年4月〉 准学士 (保育) 本スピタリティマネジメント	兼任	講師	中山 美佐子 (55) 〈平成31年4月〉 本学士 (保育) 本スピタリティマネジメント	兼任	講師	中山 美佐子 (56) 〈平成31年4月〉 准学士 (保育) 本スピ [°] タリティマネシ [*] メント	兼任	講師	中山 美佐子 (57) 〈平成31年4月〉 准学士(保育) 本スピタリティマネジメント
兼任	講師	酒井 良二 (70) 〈平成31年4月〉 〈平成31年4月〉 学士(商学) 「学士(商学)	兼任	講師	酒井 良二 (70) 〈平成31年4月〉 学士(商学) と゛ジネスス゚ロモーション 学習技術	兼任	講師	酒井 良二 (70) 〈平成31年4月〉 学士 (商学)	兼任	講師	酒井 良二 (70) 〈平成31年4月〉 学士(商学) と゛ジネスプ ロモーション 学習技術 経営組織論 国際経営論
兼任	講師	一尾 敏正 (63) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	一尾 敏正 (63) 〈平成31年4月〉 文学士						
						兼任	講師	市谷敏 (70) <令和2年4月> 文学士 おたいてネジ・メント 実用英語B			
			兼任	講師	Tina Ries (64) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 実用英語 A 実用英語 B						
		小白、杯				兼任	講師	田口健 (40) 〈令和2年4月〉 文学士 観光実務特論 実用英語 A	兼任	講師	田口健 (40) 〈令和2年4月〉 文学士 観光実務特論 実用英語 A 実用英語 B ホテルマネジメント
兼任	講師	小島 悟 (50) 〈平成31年4月〉 修士 (経営管理) 環境保全論									
兼任	講師	米田 薫 (62) 〈平成31年4月〉 博士 (臨床教育学) リーダ・ーシップ 演習	兼任	講師	米田 薫 (62) 〈平成31年4月〉 博士 (臨床教育学) リーダ・-シップ 演習	兼任	講師	米田 薫 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (臨床教育学) リーダ [*] -シップ [*] 演習	兼任	講師	米田 薫 (64) 〈平成31年4月〉 博士(臨床教育学) リーダーシップ演習
並 任	≇4系	家村 雅子 (62) 〈平成31年4月〉 修士(言語文化学)	新 红	雙師	家村 雅子 (62) 〈平成31年4月〉 修士(言語文化学)	基 红	≘ 世	家村 雅子 (63) 〈平成31年4月〉 修士(言語文化学)	並 江	畫曲	家村 雅子 (64) 〈平成31年4月〉 修士(言語文化学)

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
NK IT		基礎英語 総合英語 I 総合英語 I オーラルイング・リッシュ I			オーラルインク゛リッシュ I	N II	마쥬마	基礎英語 総合英語 I 総合英語 I オーラルイング・リッシュ I	AK II	마꾸다	基礎英語 総合英語 I 総合英語 I オーラルインク・リッシュ I
		原 良子 (66) 〈平成31年4月〉 博士(文学)			原 良子 (66) 〈平成31年4月〉 博士(文学)			原 良子 (67) 〈平成31年4月〉 博士(文学)			原 良子 (68) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
兼任		基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルインク゛リッシュ II オーラルインク゛ リッシュ III	兼任	講師	基礎英語 総合英語 I 総合英語 Ⅱ	兼任	講師	基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルイング リッシュ I	兼任		基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルイング・リッシュ I オーラルイング・リッシュ II オーラルイング・リッシュ III
									兼任	講師	福地 美奈子 (68) 〈令和3年4月〉 修士 (言語学) 基礎英語 総合英語 I
											総合英語 II オーラルイング・リッシュ I
									兼任	講師	吉田 ひとみ (68) 〈令和3年4月〉 博士 (文学)
										HT3 E-1	基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルイングリッシュ I
											横山 雅彦 (56) 〈令和3年4月〉
									兼担		修士 (国際学) 基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルイングリッシュ I インテンシブイングリッシュ II
			兼任	講師	Jasper von Meerheimb (62) 〈平成31年4月〉 修士(芸術学)(加国)						
					オーラルインク゛リッシュ Ⅱ オーラルインク゛リッシュ Ⅲ						
			兼任	講師	岡田 房子 (62) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)						
					インテンシフ゛インク゛リッシュ Ⅱ						
			兼任	講師	Randall Conners (51) 〈平成31年4月〉 修士(音楽)						
					英語 I 英語皿						
			兼任	講師	Kanel Kim Robert (69) 〈平成31年4月〉 修士(応用言語学)						
					英語 Ⅱ 英語 Ⅳ						
								Lock Christopher (70) <令和2年4月> 博士(応用化学)			
						兼任	講師	基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルインク゛リッシュ II			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
						兼任	講師	Kurt Hoverson (55) 〈令和2年4月〉 MA in education 総合英語 I 総合英語 I オーラルイング・リッシュ II			
						兼任	講師	杉山真央 (32) <令和2年4月> 博士(言語文化学) 基礎英語 総合英語 I 総合英語 I			
						兼任	講師	Randall Conners (53) <令和2年4月> 修士(音楽)			
						兼任	講師	英語Ⅲ Kanel Kim Robert (69) 〈令和2年4月〉 修士(応用言語学)			
			-			兼任	講師	マレー語	兼任	講師	マレー語
									兼任	講師	藤崎拓海 (27) 〈令和3年4月〉 修士 (言語文化)
兼任	講師	尹 郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士 (外国語教育学) 韓国·朝鮮語 I 韓国·朝鮮語 I 日本語 I 東門日本語 I 専門日本語 I	兼任	講師	尹 郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 I 日本語 I 日本語 I ピジ れ口本語 I ピッジ れ口本語 I ピッジ れ 日本語 I 『 専門日本語 I 専門日本語 I	兼任	講師	尹 郁子 (54) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II 日本語 I 日本語 I ピッジ れる日本語 I ピッジ れる本語 I 専門日本語 I 専門日本語 I	兼任	講師	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##
			- 兼任	講師	前田 達郎 (53) 〈平成31年4月〉 博士 (文学) 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ						
兼任	講師	上仲 淳 (54) 〈平成31年4月〉 博士 (言語文化学) 日本語IV 日本語 V	兼任	講師	上仲 淳 (54) 〈平成31年4月〉 博士 (言語文化学) 日本語 V	兼任	講師	上仲 淳 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (言語文化学) インテンシブ・イング・リッシュ I インテンシブ・イング・リッシュ II 日本語 II 日本語 IV 日本語 V	兼任	講師	上仲 淳 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (言語文化学) (ハランシブ・イング・リッシュ I 日本語IV 日本語 I アカデミック日本語 I アカデミック日本語 I
兼任		倉地 博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士 (体育学) 生涯スポーツ I 生涯スポーツ I	兼任	講師	倉地 博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士 (体育学) 生涯スポーツ I 生涯スポーツ I	兼任	講師	倉地 博美 (49) 〈平成31年4月〉 修士 (体育学) 生涯スポーツ I 生涯スポーツ I	兼任	講師	倉地 博美 (50) 〈平成31年4月〉 修士 (体育学) 生涯スポーツ I 生涯スポーツ I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	松下 義行 (48) 〈平成31年4月〉 高等学校卒	兼任	講師	松下 義行 (48) 〈平成31年4月〉 高等学校卒						
		人間学Ⅱ※	兼任	講師	人間学 II ※						
						兼任	講師	栗山 はるな (34) 〈平成31年4月〉 人間・環境学 倫理と社会生活			
									兼任	講師	岡田悠汰 (27) 〈令和3年4月〉 修士(人間・環境学) 倫理と社会生活
			兼任	講師	齋藤 修 (69) 〈平成31年4月〉 法学博士 人権と法	兼任	講師	齋藤 修 (70) 〈平成31年4月〉 法学博士 人権と法			
兼任	講師	岡本 託 (41) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 近現代の歴史	兼任	講師	岡本 託 (41) 〈平成31年4月〉 博士(学術) 近現代の歴史	兼任	講師	岡本 託 (42) 〈平成31年4月〉 博士(学術) 近現代の歴史	兼任	講師	岡本 託 (43) 〈平成31年4月〉 博士(学術) 近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法 人権と法	兼任	講師	出嶋 陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法	兼任	講師	出嶋 陽介 (49) 〈平成31年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法	兼任	講師	出嶋 陽介 (50) 〈平成31年4月〉 修士 (法学) 日本国憲法 人権と法
兼任		谷 圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士(政治学) 国際社会と政治	兼任		谷 圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士 (政治学) 国際社会と政治						
						兼任	講師	Bae Junsub (32) 〈令和2年4月〉 修士(政治学) 国際社会と政治			
兼任	講師	志田 未来 (31) 〈平成31年4月〉 修士(人間科学) 社会階層と文化	兼任	講師	志田 未来 (31) 〈平成31年4月〉 修士(人間科学) 社会階層と文化						
						兼任	講師	伊藤 莉央 (28) 〈令和1年月〉 修士 (人間科学) 社会階層と文化			

歯に			串に		 	声圧			宙げ		Τ
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		担当技术符合名			担当这条行口石			担当这条符合石	兼任	講師	聶蕙菁 (26) 〈令和3年4月〉 修士 (人間科学)
兼任	講師	今井 良一 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	今井 良一 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	今井 良一 (47) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	9井 良一 (48) (平成31年4月) 博士(農学)
		環境と生活 森本 誠一			環境保全論 環境と生活 森本 誠一			<mark>環境保全論</mark> 環境と生活 森本 誠一			環境保全論 環境と生活 環境とエネルギー 森本 誠一
兼任	講師	(41) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 生命と倫理	兼任	講師	(41) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 生命と倫理	兼任	講師	(42) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 生命と倫理	兼任	講師	(42) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 生命と倫理
兼任	講師	坂上 雅翁 (66) 〈平成31年4月〉 修士(文学)									
		倫理と社会生活			服部 聡 (51)						
			兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(政治学) 地域研究(北米圏)						
						兼任	講師	田中 きく代 (70) 〈令和2年4月〉 修士 (文学) 地域研究(北米圏)	兼任		田中 きく代 (71) 〈令和2年4月〉 修士 (文学) 地域研究 (北米圏)
			兼任	講師	大東 直樹 (28) 〈平成31年4月〉 修士(国際学)						
					地域研究(アジア圏)						武田龍樹 (38) 〈令和3年4月〉 修士(人間科学)
								地域研究(アジア圏)	兼任	講師	地域研究(アジア圏)
						兼任		上山修一 (59) 〈令和2年4月〉 修士(商学) コミュニティビ・ジ・ネス 地域マネジ・メント サービ、ス企画論	兼任		上山修一 (59) 〈令和2年4月〉 修士 (商学) コミュニティヒ゛ジ゛ネス 地域マネジ゛メント 地域経営論
						兼任	講師	塩見翔 (39) 〈令和2年4月〉 修士 (社会学)			
						兼任	講師	リガーナ人 [1] 真鍋公希 (26) 〈令和2年4月〉 修士 (人間・環境学)			
						NKIT		Jサーチ入門			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
									- 兼任	講師	南 裕一郎 (49) 〈令和3年4月〉 修士(社会学)
兼任	講師	浜野 孝 (71) 〈平成31年4月〉 〈学士(社会学) 本 [*] ランティア論	兼任		浜野 孝 (71) 〈平成31年4月〉 〈学士(社会学) ボランティア論	兼任	講師	浜野 孝 (72) 〈平成31年4月〉 学士(社会学) ホ [*] ランティア論	- 兼任	講師	浜野 孝 (73) 〈平成31年4月〉 学士 (社会学) ボランティア論
									- 兼任	講師	山下 泰生 (29) 〈令和3年4月〉 修士 (文学) 外国史概説
									- 兼任	講師	小寺正敏 (71) 〈令和3年4月〉 博士(国際公共政策) 日本文化史
									兼任	講師	石井大輔 (46) 〈令和3年4月〉 博士(学術) 近代社会論
									兼任	講師	水谷彰伸 (50) 〈令和3年4月〉 修士(文学) 地理学 人文地理学
									- 兼任	講師	佐橋謙一 (45) (令和3年4月〉 修士(法学) 法律学概論

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・平成31年4月古田龍輔教授就任 ・平成31年4月坂上英彦教授就任

【令和2年度】

- 令和2年3月坂上英彦教授退職
- 令和2年4月高中公男教授就任
- 令和2年4月高橋慎二教授就任
- · 令和2年4月谷花佳介准教授就任
- ・令和2年4月田中綾子講師配置換えにより就任

【令和3年度】

- 令和3年3月古田龍輔教授退職
- 令和3年3月高中公男教授退職
- 令和3年3月高橋慎二教授退職
- 令和3年4月堀上明教授就任
- 令和3年4月池田敦教授就任
- 令和3年4月岡村勝彦教授就任
- ・令和3年4月藤木清教授他学部に配置換え
- ・令和3年4月上村和美教授配置換えにより就任
- ・令和3年4月佐藤広志教授配置換えにより就任
- ・令和3年4月飯嶋香織教授配置換えにより就任
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>

- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況			
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')	
10	2	2	0	14	0	14	4	2	0	20	0	
(10)	(2)	(2)	(0)	(14)	(0)							
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')	
14	4	2	0	20	0	14	4	2	0	20	0	
[4]	[2]	[0]	[0]	[6]	[0]	[4]	[2]	[0]	[0]	[6]	[0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) -③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 20 = 142.85 % で 14 = 142.85 % で 14 = 142.85 で 14 を 142.85 で 142.85 で 14 を 142.85 で 14 を 142.85 で 14 を 142.85 で 142.85 で 14 を 142.85 で 1

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = $\frac{1}{20}$ = $\frac{5}{20}$ %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 0 = #DIV/0! % 8

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号耶	敞	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	別	担当予定科目	往	後任	補充状	況	京	优任辞述	未)是	就任)の理	由	
				なし														
-	+																	
	_																	
				合計	(D)							移		の集計	(E))		
	就	任を	·辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	① o ·	合計	数(a)		②の合計	数(b))	③の合計	十数 (c	;)
					必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			_		選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	 	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
				必修	マーケティンク゛	1	
				必修	業界研究	1	
				必修	プロジェクトマネジメント演習 エ	1	
				必修	卒業研究	1	
1	教授	坂上 英彦	R2. 3	選択	公共サービス論	1	自己都合による退職 (R2)
				選択	コミュニティヒ゛シ゛ネス	1	
				選択	地域マネジメント	1	
				選択	公共サービス論	1	
				選択	フート゛セキュリティ	3	
				必修	プロジェクトマネジメント演習	1	
				必修	マネジメント演習	1	
				選択	産業心理学	2	
2	教授	高中 公男	R3. 3				自己都合による退職 (R3)
				必修	マーケティンク゛	1	
				選択	インターンンシッフ°	1	
3	教授	高橋(慎二	R3. 3				自己都合による退職 (R3)
J	拟区	问何一法一	110. 0				ロロ害ロにみる反義(ハリ)

	合計	(F)			後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)						
		必修	4	科目	必修	4 科	■ 必修	0 科目	必修	0	科目		
		選択	5	科目	選択	4 科	選択	0 科目	選択	1	科目		
3	人	自由	0	科目	自由	0 科	自由	0 科目	自由	0	科目		
		計	9	科目	計	8 科	計	0 科目	計	1	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について</u>に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	í	合計(D) + (F)	後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)							①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計)
			必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	•		選択	5	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
	3	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	9	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3)-1、(3)-2で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
			必修	経済学概論	1						
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	1						
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	1						
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	1						
1	教授	吹春 俊隆	必修	評価と実践 I	1		R2. 3. 31付け70歳で	定年退職(R2)			
			必修	初年次セミナー	1						
			必修	基礎演習	1						
			選択	インターンシッフ° I	1						
			選択	インターンシッフ゜Ⅱ	1						
			必修	経営学概論	1						
			必修	卒業研究	1						
			選択	サービス企画論	1						
2	教授	古田 龍輔	選択	コンプライアンス	1		R3.3.31付け70歳で	定年退職(R3)			
			選択	顧客満足論	1						
			選択	経営戦略論	1						
			必修	評価と実践Ⅱ	1						
							46 4 - 1 B 1 1 b				
	合計						後任補充状況の集計				
	辞任した教員数 担当		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数 (b)	③の合計数	(c)		

		必修	10	科目	必修	10	= 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
2	A	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|令和3年3月末に退職した教員のうち、定年退職による退職が1名、自己都合による退職が2名である。後任として新たに3人の教員を採用した ことに加え、神戸山手大学との大学合併及び収容定員増に対応するため教員数は増加しており、教育体制は大きな問題はないと考えている。教員の交代に関する学生への周知方法は、リフレクションディやゼミ、WEBなどを通じて行っている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
届 出 時 (平成30年)	完成年度前に、定年規程に、定年規程に、定年規程に、定年規程を必要を表現のののでは、を動きるのでは、大きながない。これでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、大きなのでは、大きないでは、はいいでは、大きないでは、はいは、はいはないでは、はいはないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	遵守事項	教育課程の充実を図ることに 重点を置き、専門性を重視し た教員の補充を行った結果、 届出時の14名に加え、新たに 定年を超えた2名が教授として 加わることとなった。開設時 点での定年を超える専任教員 の割合は18.7%である。	履行中	教員組織の編成方針として、 まずは教員の教育経験や研究 業績、実務経験を重視するこ を有内容の質士は発育 を行う観点から、30~40代この を行う観点を採用しま を行教員を採用の年 若年教員組織の年計画であ 正化を図っていく計画であ る。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)					
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
- ・定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。
 - c 委員会の審議事項等
 - ・学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及 に関する事項
 - ・授業のアンケートに関する事項
 - ・シラバスに関する事項
 - ・ルーブリックに関する事項
 - ·PD(FD及びSD)に関する事項
 - 卒業研究登録資格認定試験に関する事項
- ② 実施状況
 - a 実施内容

2021 年度 3 キャンパス新体制スタートのための教育活動アセスメント

3 回のPD を活用し、本学で収集した学習活動に関する種々のデータのほか、外部講師・参加学生等からのインプットを参照しながら、学科間・学科内・教員間など様々な単位でのディスカッションを行い、3 キャンパス新体制がスタートする2021 年4 月に、①全学部・学科が本学の教育の特色を踏まえた教育プログラムを開始できるように適切に準備すること、同時に、②ポストコロナの教育プログラムの在り方についての理解を学内共有し、適宜現場実現するための準備を推進すること、を目指す。

- b 実施方法
 - ・全学PD(FD及びSD)におけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

「科研費等外部資金獲得について」 愛知教育大学 後藤博明 氏

8月20日

「ポストコロナの教育・学習活動について」 桐蔭学園 理事長 溝上慎一 氏 「教員によるゼミ生へのキャリアアドバイジング」 実践女子大学 学長補佐・教授 深澤晶久 氏 9月17日

「重要科目に焦点化したパフォーマンス評価による学習成果の可視化」京都大学 高等教育研究開発推進セン 2月18日 ター高等教育教授システム研究開発部門 教授 松下 佳代 氏

c 開催状況(教員の参加状況含む)

第1回PD 8月20日・21日

第2回 P D 9月17日

第3回PD 2月18日・19日

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

神戸山手大学と合併し、3キャンパス体制となった初年度である。コロナ対応も含めて、本学の教育実施体制に対する 課題について、学部・学科・教員間での共有は図られたと考えている。特に、コロナ禍における遠隔授業の方法につい て、ZOOMを用いた授業展開を迅速に行うことができた。遠隔授業における効果等について、アンケート調査等を行い、 今後の遠隔授業の方法を検討している。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
- 各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
 - a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

- ② 審議状況
 - a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

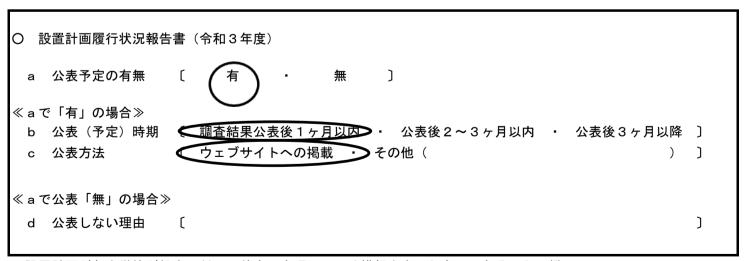
設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の 充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置 時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和3年7月1日 公表
 - b 公表方法
 - 自己点検・評価報告書を刊行
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受ける予定としている。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項



※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。